

301251-001-6

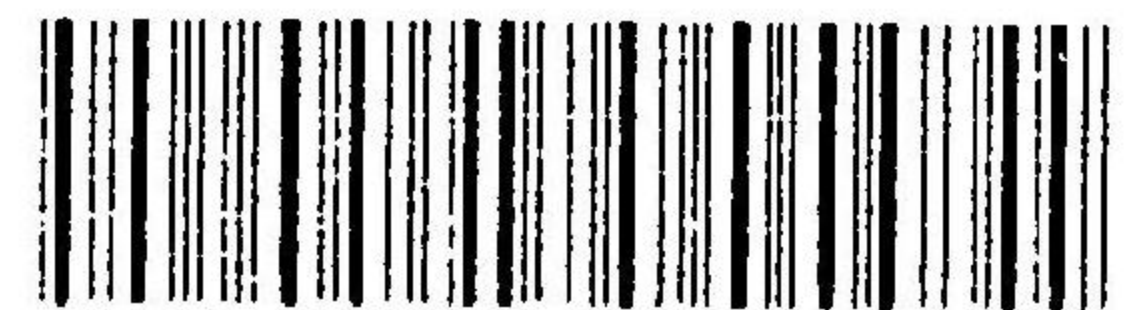
特71-668

カード式・国文法

小酒井五一郎／編

M44. 1

DAC-0001



国文法
カード式



特71
668

法華經



法華經

668

法華經

發行の要旨及使用方法

本誌は學生諸氏が繁雜なる復習を容易にし、記憶力を増進せしめんが爲に。従来の類書と異りたる新形式を以て編輯せられたるものなり。蓋力カード式の便利は何人も認むる所なれども、未だ各學科に亘れるものなきを遺憾とし、多年教授に經驗ある各専門大家に執筆を請ひ、綴り方に就き幾多の新工風を凝らしたるもの即ち本綴なりとす。是れが使用法等に就きては、使用者自ら便宜の方法を執るべきも試みに其二の例を示さん。

一 使用者は、カード表面の略表に依りて、其事

實を答へ、後裏面を見て答の正否を檢すべし。

一 右の方法に依り、毎日カードの數を定めて順

序に復習し、記憶し終はりたる物は位置を換へ、

記憶し難き物は置きて更に復習すべし。

一 又各學科中より、特に復習せんとする部分、

又は記憶し難きもの、みを宛めて練習するも、一

方法たり。

一 斯くして記憶し得たらば、左欄の參考問題に

つきて更に練習を試むべし。答案はカード中に

て解するを得ん。

一 學科の全體を通覽せんと欲せば、カードの

裏面のみな見るべし。疑問あらば索引に依りて

同じくカードの裏面を見よ、直に氷解すべし。

一 各教科書中の事項は網羅したれども尙數學に

於ける問題の如き遺漏は使用者自らカードを製

し、充分に補足して完全のものとせらるべし。

一 右の便利を計らん爲、本社に於て、同形同質

の紙に罫を引き、穴を穿ち實費を以て發賣せり。

(費用新案登録一六五一號)

詞助ス示ヲ係關

一 八六四

一 かの二

一 ながら

一 九七五

一 一〇がり

一 九七五

一 一〇がり

特ク
668

參考問題

一 本號ノ以テ、是ト後段反對ノ意トナルを以テ、ガト比

較シ各二例宛ヲ擧ガヨ

二 ぶりノ二意味ヲ擧ガヨ

三 ながらノ二意味ヲアゲヨ

四 候文ヲ用テ、ル「作」ノ意ハ、ながらノ二意味ノ何レニ

當ルカ

五 行キガテハ見ル「ト」行キガテハ見ル「ト」ノ意味ノ

異ナリ如何

六 友ノ許(モト)ガリ行キマ「ノ誤如何

七 机ニ向テ、春來ニケリ「ノ文法的説明如何

(三八年東京女高師)

(國文法七二)

拔萃ノ意ナル助詞(國文法七三)

- 一 はば 他下區別スル時ニ用フ。
太郎は行き次郎は歸リタリ。
- お等ノ語ト共ニ用ヒラルル時ハ、ハ音便ニヨリテ
ばトナル。

- 二 のみばかり。一ツタケアル場合ニイフ。
泣クばかりナリ 甲のみ之レヲ知ル
- 三 ゴ コト定メテ、シカト言フ語。
我レぞ行ク 子ハ孝チスベキモノぞ

此ノぞトら變ノ「有リ」ト約音ニナル時ハ、
さぶ・さぶ・さぶ・さぶトナル(ぞト有リノあと約音ニナリテ
モ同形トナル。ソハ場合ヲ見テ考フベキナリ。)

櫻木ニカツセバ唐ノ言ノ葉モ大和心ノ花
ニざり(ゾ有リ)ケル
照ル月ノ流ルル見レバ天ノ川出ヅル源ハ
梅ニざり(ゾ有リ)ケル

接續。ゾガ用言助動詞ニ接スル時ハ、連體ニ續ツク
四 ぬむ。ゾニ似テ意稍輕シ。

花ヲ見ルぬむ 甲ぬむ 勉強家ナル
五 ぞぞ。唯一ツヲ抜き取ル意。

六 し 強メ詞。今し太陽ハ中天ニ上リヌ
甲之勉強家ナル 花見とぞ樂シケレ

詞助キベス意注

- 一 と (結びの下)
- 二 と (とあり等)
- 三 と (並列の意)
- 四 と (誤 用)
- 五 と (ものから)

(國文法七四)

參考問題

- 一 憂シト見シ世ゾ今ハ戀シキト行キシト聞クト
何レガ誤カ
- 二 彼レハ昨日來タリシトゾ
兔角浮キ世ハ思フニ委セヌモノ
太郎ト次郎ノ父ハ畫ヲ好ム
ノ意味ハ正確ニ意味
得ルカ又此ノ文ニ在リテ次郎ノ下ニトヲ入レバ
父ハ誰レノ父カ更ニ父ノ下ニトヲ用ヒバ畫ヲ好ム
ハ何人トナルカ
- 三 酸素ト水素ヲ化合セバ水ト成ラむ
ノ誤
- 四 次ノ文ノ中ナルトノ意義ノ異同ヲ説明セヨ
(三六年專門校)
- 五 悔ユトモ及バジ 古語ニ曰ク妖ハ徳ニ勝タズ
取ルと取ラザルトハ汝ニマカス
(三七年東京高師)
- 六 人ト禽獸ノ差異ハ言語ヲ有サト有セザルトニヨリ
テ別ルト或人イヘリノ誤
(四二專門校)

注意スベキ助詞(一)

注意 此ノ條ニ論ズル助詞ハ、接續上・意味上又ハ類似上等ニ就キテ注意スベキモノナリトス。

1

關係ヲ示ス助詞。

1 と。此ノ助詞ハ、語ノ完結シタル 即チ云ヒ終ラ
ナル後ニ接ス。

花咲ク「と見エタリ

花コソ咲ケ「と見エタリ

花ナ咲キ「と祈ル

ツマリ語ノ完結スル下ハ何レニモツク故ト語ノ上

タケニテ語ハマトマリナ付クルヲ要ス。例ハ「春、

來「ハマトマリタル正文ナリ。故ニ「春、來ト警告

ク「トイフベキモ、「春、來ルハ誤文ナリ。サレバ

「春、來ルト警告ク「トハイフベカラズ。春ヅ來ルト

警告ク「トセバ又可ナリ。

二

又上略シテ單ニ「とアリカカリ「とモカクモ「と

バカリアリテ「とモスレバ「ナドトモイフ。

三

又一種並列スルとアリ。漢文ノ興、及ト同シ

大郎と次郎と三郎と四郎とハ皆男子ナリ

四

誤文。相並べル語ニハ、一々とナ附スベシ。論語

と史記ノ列傳ヲ讀ム「ノ文ハ論語ノ列傳と史記ノ列

傳とノ二列傳ヲ讀ムトモ、論語と史記ノ列傳とヲ讀

ムトモナルガ故ニ、前ナルニハ論語と史記とノ云々

トシ、後ナルニハ論語と史記ノ列傳とノ云々トス。

七六五四

三二一

山 登ル「學校ヘ行キタリ「ノ誤

家ヘ歸ル「ト家路ニ向フ「トノ誤如何

賢悟ハ爲セシものから且ツ驚カレヌル「ノ意味如

詞助キベキ意注

三

「、あのから。

「は、そのさ。

と。

何 前ヘ進メ「ト前ニ進メ「トハ誤ナキカ
右ヘ進ム「ト右ニ進ム「トハ何レカ正シキ
行キニ行ク「ト行キト行ク「ト差アルカ(同様)
雪深クツモリニケレバ道モ知レザルニ足ル任
セテユキニユク「ノ差 (三八年高等學校)

注意スベキ助詞(三)

口拔萃ノ助詞。

一 然に すら。二語ハ略同シク、小サキモノナ學ガ

二 然に すら。二語ハ略同シク、小サキモノナ學ガ

三 然にノ二種。然にニハ(一)假定(二)確定ノ二種ヲ

テ更ニ大ナルモノナ想像セシムル意ノ助詞ナリ。

リ。(一)ノ假定ハ事實上ナキ事ヲ假リニアリト定メ

テイフ場合ニテ、到底今ノ境遇上米モナキ身ナルニ

「米然にアラバヨカラズ」トイフガ如キコトナリ。

(二)ハ比較ニテ、之レハ事實上ナシトイフニアラズ、

「鳥然に恩ヲ知レリ況キ人ニオイトキヤ」ノ如シ。

四 然に すら。同意ノ場合。

確定ノ意ノ然にハすらト全然其ノ意同シ。サレバ鳥

すら恩ヲ「云々トイフモ可ナリ。サレド假定ノ然に

ハすらト全く同シカラズ、即チ「米すらアラバ」云々

トイハヌガ如シ。

五 然にノ意味。然にハ副ハノ變シタルニテ「今マア

アリタルニモ更ニ増シテ甚シクナル」場合ナイフナ

リ。サレバ前ノ然に、すらトハ假令結果ニ同意トナ

ルコトアリトモ、主眼ノ指入向キチ異ニス。即チ(鳥

然に「すら」トイハバ「鳥ノ如キ」すら然にモノマア

ガ「ノ意トナリ」夫然に死ニタリトイハバ、祖母

死ニ、父母死ニ、子死ニ、最早キ此ノ上ノ悲ミナカ

ルベシト思ヒシニ、今ハカラテ加ヘテ夫マア死ニ

タリト悲メル妻ノ身ノ上トナル。何レモ只「然に」トイフ。

六 三語ノ口語。何レモ只「然に」トイフ。

かノ意味

一 然ノ異同 所在 接續

三 疑問語ニ對シテ(か)

かノ疑問

一 然ノ疑問

二 然ノ異同

三 疑問語ニ對シテ(か)

參考問題

誰か知ル「誰か知ル」ハ何レモ正シキカ(然リ)

人來ル「人來ル」ハ何レモ正シキカ(然リ)

汝ハ知レリ「汝ハ知ル」トハ共ニ正シキカ

此ノ頃ハいかが御幕シナサレ候御伺ヒ申候」ノ

義朝ヲ殺せし人ハ誰レナリ(三七年東京音楽校)

トメ見シ君モ來ル櫻花クフハ待チ見テ散ラ

バ散ラナシ」ノ誤(三七年東京高師)

トカトノ(共ニ疑フ意ノ助辭)區別如何

トシテ各ニチ擧ゲ示セ「無シ」ニ接續セシメ疑問語

人誰かソノ幸福ヲ示ハザル者ナカラソ(四一年七高)

シク御手敷誠ニ恐レ入り候も何分ノ御談判下サル

一〇 九 八 七 六 五 四 三二一

反語ノやか (國文法七八)

- 一 反語ノやか。前ノ疑問ノやかハ又一轉シテ反語ノやかトモナル。誰ニか語サシ「誰ニか語サシ」ハ誰ニ語サカイヤハシナイ「我ヤ行カシ」ハ我レハ行カサカ行キハシナイノ意ナリ。
- 二 反語ノやかは。かば。又前掲ノ反語ノやかニ、感歎詞ノはツツケテ、やかは。かばトナシテ「誰かば怨ミシ」(誰ヤ怨マシ怨ム人モナイ)「知ラテやかは」(知ラズニ居ヤサカ否々ササテハキラレナイ知ツキル)ノ意。
- 三 注意。

一 反語ノやかハ疑問ノやカノ派生語ニシテ、言ニ注意ヲ引カシガタメ殊更ニ疑問ノ形ヲ以テセルナリ。サレド實際ハ疑フ要ナキが故ニ、反語トナリテ、疑問ノ意トセズ。カクテ其ノ接續ノ規則ナド疑問ノモ反語ノモ同様ナリ。

ロ 一音ノ語ニツク時。やカ一音語ニ接スルトキハ注意セザレバ誤チ生ズ。即チやハ終止ニ接ス。

ハ 異例。や。かニハ異例アリテ、古格ニテハ時ニ既ニ然形ニ接續スルコトアリ。(是感歎詞ナラシメ)「折シモ有レや、夢路れや、筑波ノ山ヲ戀ヒズあらめかモ」ノ如シ。

詞助ノ續接 (國文法七九)

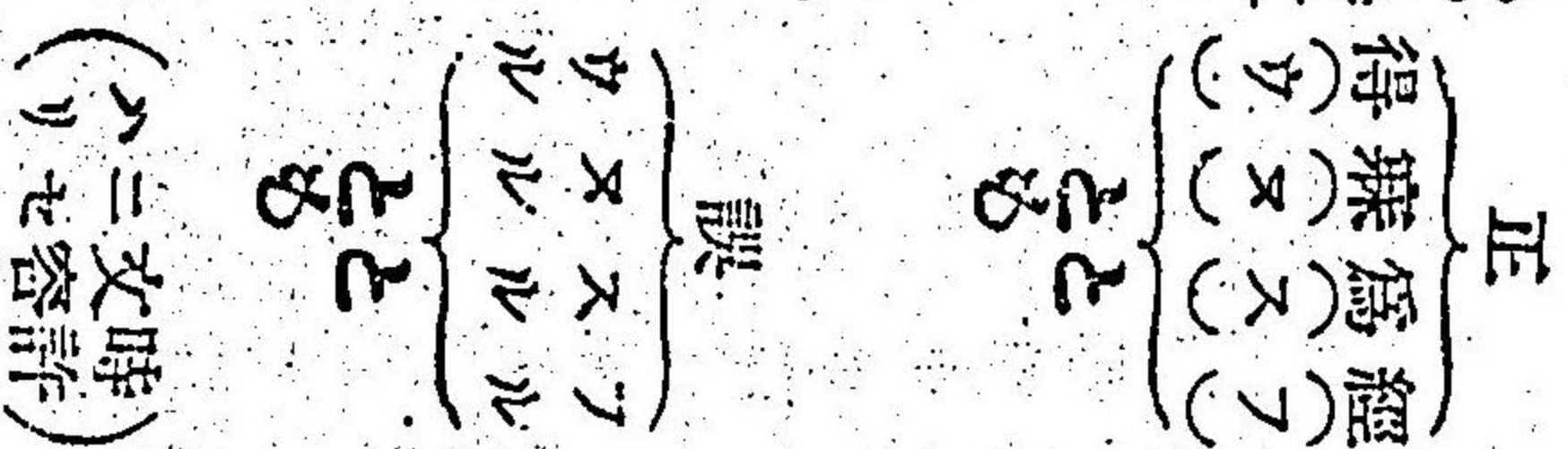
一	は	ば	は	ば	は	ば	は	ば	は	ば
二	と	とも	ど	ども	つ	つ	つ	つ	つ	つ
三	も	も	も	も	も	も	も	も	も	も
四	九	に	さ	が	九	に	さ	が	九	に
五	七	て	七	て	七	て	七	て	七	て
六	八	六	五	四	三	二	一	八	六	五

詞助ノ續接 (一)

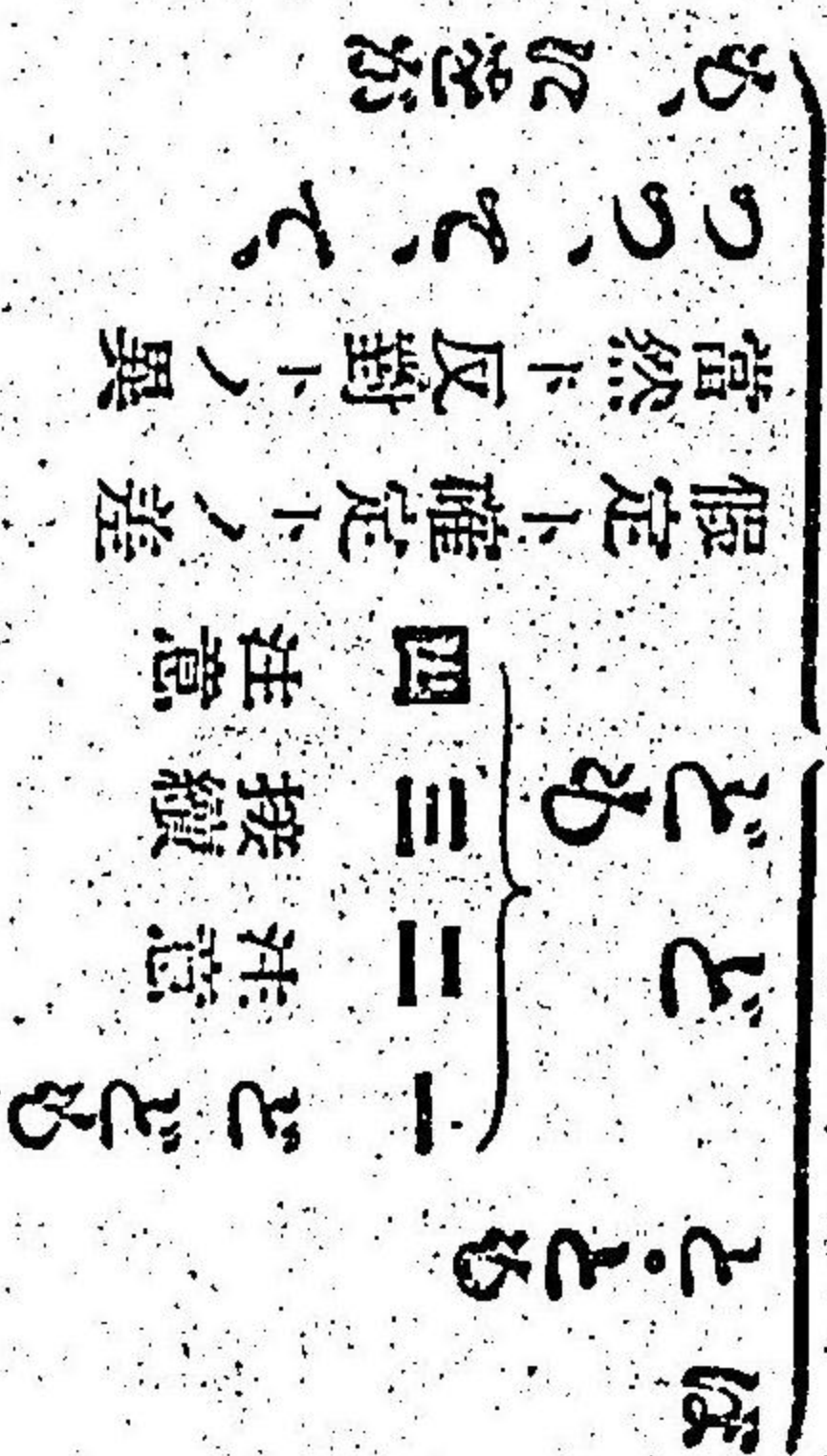
- 一 若シ御意見モ候ヘバユメユメ御遠慮被下まじクノ誤 (三六年専門校)
 - 二 散レバ、散リナバ、散リタリセバ」ノ意義説明 (三九年高等學校)
 - 三 寒クバ、寒ケレバ」ノ差異ヲ問フ (四〇年長崎高商)
 - 四 無クバ、無ケレバ、無カリセバ」ヲ説明セヨ (四〇年東京高師)
 - 五 明日雨天ニ候ヘバ延期致スベシ警ニ候」ノ誤 (四〇年東京高師)
 - 六 人才學無クバ身ヲ立テ能ハズ」ノ誤 (四一年七高)
 - 七 當日雨天ナレバ巡延ノ事ト心得ルベシ」ノ誤 (四一年八高)
 - 八 左ノ文中括弧内ノ語ヲ説明セヨ (四二年長崎高商)
- 急ギ(シガ)及バザリキ 家ノ風ヲモ吹カセテ(シカ) 召サレ(シカ) 何事モナカリ(シカ) 参リキ

接続ノ助詞(二) (國文法八〇)

- 一 とども、ニツノ言ヒアラハシヲ接続連絡スル助詞ニシテ、此ノ「ト」トモ「チ」境トシテ、上部ニアルイヒ現ハシガ條件トナリ、「ト」トモ「以下」ニアル言ヒ現ハシガ、其ノ條件ヨリ生マレ來タル反對ノ事實ナイヒアラハス。意味ハ假定ナリ。
 - 二 注意。前號ノ「ば」ニハ當然ノ事實トイヒ、此ノ「と」ともニハ反對ノ事實トイフニ注意セヨ。
 - 三 接続。動詞ニハ終止形ニ接続シ、形容詞ニハ副詞形(第二轉)ニ接続ス。助動詞ハ類推スベシ。
 - 四 注意。とどもハ動詞ノ終止形ニ接続ストイフ事ハ忘ルベカラズ。
 - 一 助動詞ガ動詞ニ接続スル時ニ、其ノ終止形ニ接続スルモノハ、良行變格ニハ連體形ニ接続スルトナルガ、とどもハ良變ニモ矢張終止形ニ接続ス散ラズバ有リとモ花ト見マシヤ
 - ロ 一音下ノとども。經・爲・來・寐・得等一音ナルニ接スル際モ常ニ終止形ニ接スル事ハ忘ルナ。
- ハ も。時文ニアリテハ、とどもニ代フルニモ以ツテスル事モアリ。正シキニハアラズ。錢アルモ(有りとども)空費スベカラズ等



助詞ノ接続



一 とどもトどもノ異同如何

參考問題

- 二 恐入候共御願申候也」ノ共ノ讀方如何
- 三 今更後悔スと及バテ」ノ誤
- 四 我レ之レヲ知リテも遂ニ告グザリキ」ノ誤
- 五 若シ不行届ナ」儀之アリ候へども御免下サルベカ候」ノ誤
- 六 御手敷恐入候も何分ノ御談判下サルマツク候矣」(四一年七高)
- 七 助詞とどもどものニツガ動詞形容詞ニ連續スル方
法ヲ説ク (四二年東京女高師)

接続ノ助詞(三) (國交法八一)

一 **とども**。とともト同様ニツク云ハアラハシキ
 接続連絡スル助詞ニシテ、此ノ**とども**チ境トシテ、
 上部ニアル云ハアラハシキガ條件トナリ、以下ニアル
 云ハアラハシキガ、其ノ條件ヨリ生マレ來タル反對ノ
 事實ナル場合ニ用フ。意味ハ確定ナリ。
 二 注意。前前號ノ**ば**ハ、**ば**以下ガ**ば**以上ノ當然ナル
 事實ナイハアラハシキ、**とども**ハ反對ナル事實ナイ
 ロアラハスチ異ナリトシ、又前號ノ**ととも**トノ差
 異ハ、**ととも**ハ假定チアラハスニ、**とども**ハ確定
 ノ意チアラハストイフニアリ。

- (ば) 働カば金タマラソ……………(假定) 當然
- 働ケば金タマル……………(確定) 事實
- (と) 働クと金タマラザラソ……………(假定)
- 働クとも金タマラザラソ……………(假定)
- (ど) 働クど金タマラズ……………(確定) 事實
- (ども) 働ケども金タマラズ……………(確定)

四三 接続。用言(動詞・形容詞)助動詞ノ既然形ニ接ス
 注意 イ 時文ニテハ、**とども**ニ代フルニモチ以
 ツテシ「知ラザレども」知ラザルモ「受クレド」
 チ「受ケルモ」トスルコトアリ。正シキニアラズ。
 ロ **とハども**ト意全ク同ジク、**と**ハ近來アマリ多ク
 用ヒズ。**とども**ハ意全ク同ジク。現今モ並用ス。

詞助ノ續接 中

ば
 ととも
 とども
 假定ト確定トノ差
 當然ト反對トノ差
 つつ、て、で、
 め、は、ぎが。

一 働カバ金タマラソ 參考問題

ハタラケバ金タマらん
 働クトモ金タマラソ

二 働ケトモ金ハタマラザレシノ誤

今更驅ケ行クトモ間ニハ合……………ノ……………チ充
 タセ

接続ノ助詞(四) (國文法八三)

一 つ。半過去助動詞にて、つゝる。つれづれが二ツ重ナリタルニテ、進行ノ繼續ヲ表ハス意ナリ。通常「ナガラ」ト口解ス。

泣キつゝイフ 思ヒつゝ行フ等
 接続。つノ重複セルナレバ、つが連用形ニ接続スルト同様、連用形ニ接続ス。

二 て。イ 前事ヨリ後事ニ移ル意ノ助詞ナリ。試験終リテ休業始マル等
 ロ 因果。上ガ原因トナリテ下ガ結果。
 ハ 雨降りテ地固マル等
 ハ 單ニ連絡用。單ニ接続用故テ去リテモ意通ス。身強クテ色黒シ等

接続。半過去助動詞ノてが單獨ニ用ビラレテ助詞トナリタルヲシ。從テ用言・助動詞ノ連用形ニ接スルニ形ナリ。

三 て。打消助動詞ノぞト前項ノてト合ヒタルナリ。知ラテ過ギケリ 取ラテ止ミタリ等
 接続。ぞガ動詞、アル助動詞ノ將然形ニ接続スル如ク、てモ將然形ニ接続ス。

四 も。語・句ノ並列ニ用テ助詞ナリ。一昨年も去年も今年も一昨日も昨日も今日も我が學ブ文。コレナキ此行クも歸ルも別レテハ知ルも知ラスも逢阪ノ關等

詞助ノ續接 (五)

ほ ととも どども
 假定ト確定トノ差
 當然ト反對トノ異
 つつて、て、ども
 一 きがほ
 二 接續
 三 三語ノ意味
 四 異局
 五 がを

參考問題

- 一 太郎を教テ「太郎を教ヘン」我レコソ太郎を教ヘント思ヒシを「之ノ別如何
- 二 太郎が行キシが事遂ニバトマラザリキ「ノがノ別
- 三 ツレナ次郎と興ヘシに又今三郎ノ名ヲアリ「ノにノ區別如何

接續ノ助詞(五) (國文法八四)

一 **ぞ**が。 **ぞ**が、共ニ語句ノ接續用助詞ニシテ、前ノどどもト相似テ反對又ハ不調和ナル結果ヲ得ル場合ニイフ助詞ナリ。

初メ尊氏ヲ忠臣ナリト思ヒシに彼ハ全く逆臣ナリキ(思ツタトハ反對ニ)

戦ハ勝チシが利ハアザリキ(勝利ナレバ價金ヲ取ルナド利アルベキニツレトハ反對ニテ)

遂ニ行ク道トハ兼テ聞キシカド昨日今日トハ思ハザリシぞ(昨今ノ急トハ思ハザリシニ事實ハツレトハ反對ニテ)

二 接續。三語共動詞・形容詞・助動詞ノ連體形ニ接續三語ノ意味。 **ぞ**がノ三語ハ其ノ意同様ナリ。

故ニ「昨日今日トハ思ハザリシぞ」ノ三代ヲルニ **は**がチ以ツテストモ意ニ異ナル所ナシ。

ぞがハ反對・不調和等凡テ案外ナル意ヲ表ハスガ故ニ、感歎ノ意ヲ帶テ。從テ「雨が降ツテ行ツタ」チ「行ツタ雨が降ツテ」トイフ如ク、逆文ノ體ヲ以テ表出セラルルコト多シ。前例ノ「昨日今日トハ」

ハ「ノ歌ノ如シ。異同。甲が言ヒヌ・甲ハ與フ・甲ヲ教フ等ノ、 **が**ハ此ノ **ぞ**がトハ異ナリ。前者ハ體言ニ接シ、此ノ條ノハ動詞ニ接ストイフニテ區別スベシ。

接續ノ助詞(五) (國文法八四)

一 **ぞ**が。 **ぞ**が、共ニ語句ノ接續用助詞ニシテ、前ノどどもト相似テ反對又ハ不調和ナル結果ヲ得ル場合ニイフ助詞ナリ。

初メ尊氏ヲ忠臣ナリト思ヒシに彼ハ全く逆臣ナリキ(思ツタトハ反對ニ)

戦ハ勝チシが利ハアザリキ(勝利ナレバ價金ヲ取ルナド利アルベキニツレトハ反對ニテ)

遂ニ行ク道トハ兼テ聞キシカド昨日今日トハ思ハザリシぞ(昨今ノ急トハ思ハザリシニ事實ハツレトハ反對ニテ)

二 接續。三語共動詞・形容詞・助動詞ノ連體形ニ接續三語ノ意味。 **ぞ**がノ三語ハ其ノ意同様ナリ。

故ニ「昨日今日トハ思ハザリシぞ」ノ三代ヲルニ **は**がチ以ツテストモ意ニ異ナル所ナシ。

ぞがハ反對・不調和等凡テ案外ナル意ヲ表ハスガ故ニ、感歎ノ意ヲ帶テ。從テ「雨が降ツテ行ツタ」チ「行ツタ雨が降ツテ」トイフ如ク、逆文ノ體ヲ以テ表出セラルルコト多シ。前例ノ「昨日今日トハ」

ハ「ノ歌ノ如シ。異同。甲が言ヒヌ・甲ハ與フ・甲ヲ教フ等ノ、 **が**ハ此ノ **ぞ**がトハ異ナリ。前者ハ體言ニ接シ、此ノ條ノハ動詞ニ接ストイフニテ區別スベシ。

詞助ノ歎感 (一)

- 一 かか
- 二 がが
- 三 なむ
- 四 かし
- 五 よや
- 六 ばや

參考問題

一 スクニツアリシか

斯クアリシか如何

彼レナレバカク成シしかノ異同如何

哉チヨミテ見ヨ

世ノ中ハ常ニモがもナ渚ヨシ海人ノ小舟ノ綱手カ

ナシも「ノ意

四 かか。がが。がが。例チアゲヨ

感謝ノ助詞(一) (國文法八五)

一 **かか**。感謝ノ意ヲ帶ビタル助詞ナリ。

普通**かか**ノ方チ多ク用フレドモ、**かか**何レモ同意ナリ。此ノ古格ニ**かも**アリ。

接続。用言・助動詞ニ接続スル時ハ、其ノ連體形ニ接スルヲ常トス。

美ナル**かか**水滸々アリ

已ミタル哉命ノ衰ヘタル

淺緑絲ヨリカケテ白露ヲ玉ニモヌケル春ノ柳**かか**

かかハマタ體言下ニモ接スルコトアリ。此レハ其ノ間ニ**なる**等ノ省略セラレタルナリ。「覺東ナクモ呼子鳥**かか**」ハ……呼子鳥**なるかか**ノ意ナルガ如シ。

二 **がが**。希望ノ意ヲアラハス助詞ニシテ、**もぞ**。

にシ(て)し(に)等ニモ)等ヲ媒介トシテ他語ニ接シ、又體言ニ直接ニ接スルコトモアリ。何レモ希望ヲ表ス。但、**がハ**古格、**が**ハ今モ用ヒ、**かも**ハ今多ク用ヒズ。

人ニ知ラレテ來ル由**もが**

物**が**得ソトス 京**が**行カソ

得て**し**見**て**しが

早ク淨キ世ヲ離レ**し**が

ヨキ敵**が**組ソテ討チナソ

秋ナラテ妻ヨテ鹿ヲ聞キ**しが**

甲斐**が**ネチサヤニモ見**し**が(心)

ナク横ホリ臥セル佐夜ノ中山等

詞助(二) 歎感

かか
がが

かむ
がむ

かし
よ、ぼ

想像 希望 係辭

三種

參考問題

一 我レ**か**良キ人ナル

我レモ行カ**む**

我レモ行キ**む**ノ區別如何

二 人知レズ我通路ノ關守ハ管々毎ニ打チモ疲**か**

むノ上ノ**か**ハ半過去助動詞ノ**か**ナリサラバ下ノ

むハ何方又之レチ口語譯セヨ

三 例ヲ學ガテ**む**トイヘル詞ノアラユル用法ヲ示セ

(四一年山口高商)

感歎ノ助詞(三) (國文法八七)

一 かし。語・句・文ノ言ハ終ハリタル後ニ附屬シ、餘情ヲ含ミ輕ク強ムル助詞ナリ。語・句・文ノ終結シタル所ニハ何處ニ附ストモ勝手ナリ。サレド、其ノ未

ズ終結シタルモナラデハ附スベカラズ。又希望ノ意アリナドト誤解スベカラズ。ソハ希望ノ言ヒヤコハシノ下ニツキタル時ナドヨリ誤リ認メラレム。

二 ぶ。親愛・呼掛ナドノ意ヲアラハス助詞。哀レナリケンかし 見ヨかし等 行ケかし 花落ツルかし 花コソ落ツルかし 花ゾ落ツルかし

死ニシ事ノ哀レサヨ 我ニ聞カセヨ 聞カセテヨ等

「忘レケルヨ」ナドハ連體形下ノ體言ヲ略シタル形ニテ、カカル場合ニテ用言ニ接スルニハ、勿論連體形ヲ、カカル場合ニテ用言ニ接スルニハ、勿論連體形ヲ

三 ば。希望ノ意ノ助詞ニシテ、動詞・助動詞ニ接スル時ハ、普通其ノ將然形ニオイテス。心ヲテニ折ラば。折ラシ初霜ノオキマドハセル白

見セば。小島ノ海人ノ袖ズニモ濡レニツ濡レシ色ハカハラシ 見ば。 取ラば。 學バば。 等

詞助ノ止禁

一 ぬ

二 ぞ

三 附論

常形 ぬぞ
變形 ぬせぞ

參考問題

一 オノレヲ責メテ人ヲ責ムルナリノ誤

二 花ノ色ハサツリニケリ。花ノ色サツル。ノ異

三 疑ノ中、か及ビ禁止ノ故ヲ適當ニ「有リ」爲「死

四 ヌ」ノ三語ノ下ニ附々ヨ (三七年專門校)

五 タトハ殺戮スルヤテモ警ムル敵ニ降服スルナリノ

六 誤 次ノ文ノ正否ヲ記シ誤レルモノハ其ノ理由ヲ略述

シテ訂正セヨ (四一年五高)

万事ニ油斷スルヲ、萬事ニ油斷ナシ」

左文ニ振假字ヲ附クテ文法上ノ説明ヲ加ヘヨ

ココニ來ナバ ココニ來ナ (四一年五高)

意味。感情が刺戟セラレタル時發スル語ニシテ喜怒哀樂ノ情ニ觸レ發スル聲ナリ。

感歎詞(一)

(國文法九〇)

一 形。ハ重ニ短小ニシテ、
二 音。ハ重ニ母韻半母音ニ多キガ故ニ、阿行和行ニ

其ノ音多シ。之レ母韻・半母音ハ發音ノ最も容易ニシテ自然的ナルモノナルガ爲故、半無意識的ニ生ズル歎詞トシテ適當ナルナリ。之レハ期セズシテ外國語ト殆ド其發キ一ニスル所ナリトス。

三 用。感歎詞ハ其ノ形短小ナルガ故ニ、助詞ト似タレドモ、感歎詞ハ獨立シテ自存シ得ルモノニナリ、他語・句・文ニ附屬セザレバ意味チナサザルモノニアラザルナリ。之ニヨリ容易ニ識別シ得ベシ。

四 類。感情ノ種類ガニ同趣ナラバ何等制限ナク使用シ得ル感歎詞ト、其ノ用法慣用アル者トアリ。他語ノ上。中又下部ニ位置スル感歎詞モアリ。甲 純感歎詞(單ニ感動ス) 乙 混感歎詞(觀念ヲ含ム)

七 轉。多ハ此ノ如ク名詞ニ轉ズルモアリ。南無三寶ノ如ク名詞ヨリ轉來スルモノアル等種々アリ。八 複。感歎詞ハ重用シテ用アルコト多シ。

(國文法九一)

詞歎感

(二)

形 音 用
類 位 別
轉 複
重ナル感歎詞

參考問題

- 一 見セバ感歎小島ノ海人ノ袖ガニモ「我が思フ人ハアリ感ナシ感」
 - 二 思ヒ知ラシ感ニユメ怠ル感ノ感ノ區別如何
 - 三 感歎詞ト同形ナル助詞チアガヨ
 - 四 左文ノ「感」ノ説明 (四一年千葉醫專)
- 何クレトイドムコトニ勝チタルゾカレシキ感
カクイタツラニ老ノ果テムトハ思ヒカケキ感
知ラズサル誠ノ例古ニアリキ感否や

感歎詞(二)

重ナル箇々ノ感歎詞ト其ノ例トヲ示サン

嗚呼忠臣楠氏之墓

あなカシコ あなカレシ

あはれ今年ノ秋も去ヌメリ

又哀トイフ名詞トモナル

いで目ニ物見セクレソズ

いで此ノ世ニ生マレテハ

あの大變

歌ヘテ巡レオト子供

いかん誰カアル

すは一大事ゴサソナレ

あはか其ノ儘オクベキツ

あはあトイフ間モアラセズ

いざコトトバム都鳥

いざ「サア」ナドノ意ニテ誘フトキ

ノ語。「いざ」知らざるゝいざの清音

ナルトハ別語ナリ。

長々シ夜チ一人かゝ寝ン

契リキぬ互に袖チシホリツツ

四部ノ弟子ハヨ怒

皆ぞ荒ミ 瀬を早ミ

右ハ其ノ重ナルヲ擧ゲタルニテ、古格ナドヲ擧ゲナ

バ其ノ類甚ダ多シ。

又他品詞ト區別立タザルモノモ少ナカラズ。

他品詞ト稍區別スベシ。又南無三寶・畜生ヲラレタ、

之は抑如何ニ

あはれ あな ああ いで あ いで あ いかに あよ ああ いで あ いで あ いざ

さぬ

さ

(國文法九一)

(一)詞副

三二一

意味 副詞 分類

性質上 組立上

參考問題

一 副詞ノ役目ヲ問フ

二 形容詞ヨリ出ヅタル副詞ヲ例示セヨ且ソレガ連用

三 限定ス「修飾ス」ノ意味如何

四 副詞句トハ如何ナルモノカ

五 今日來ズバ明日ハ雪トツ降りナマシ消エズハアリ

トモ花ト見マシキ「今日ハ不在明日ハ在宅ナリ」

六 「今日明日」ハ前後文ニアリテ其ノ性質ヲ異ニス

ルカ 大體ニ於イテ文中ヨリ副詞ヲ除キ去ラバ文意ハ通

ザルベキカ

七 左ノ副詞ヲ用ヒテ十字以内ノ句ヲ作レ

癸ヅ 必ズ 恐ラクハ 會テ(四〇年土官校)

副詞(一)

意味。副詞ハ品詞上、形ノ上ヨリシテ、別ニアラ

ズシテ、其ノ使ヒ道(作用)上ノ分類ナリ。サレバ、

動詞・形容詞・助動詞ノ活用アルニヨリ、名詞ノ、物

ノ名ニシテ活用ナキモノ等ノ標準ニテ分類セラレタ

ルトハ別ナリ。品詞チ一ノ基礎・標準上ニ分類スベ

キハ勿論ナレドモ、今ハ便利上、カカル、論ニツタ

リタルハ極メテ省略シテ、只在來ノ慣例ニヨリテ尙

ホ作用上ヨリ分類シタルマデニテ一品詞トシテ茲ニ

掲ケ。

二 作用。副詞ハ動詞・形容詞及ビ他ノ副詞ノ意味チ

明瞭ニスル爲ニツケ加ヘラレタルナリ。意味ノ明瞭

ハ其ノ物ノ範圍ヲ縮少スルニ若クハナシ。廣サ(外

延)ガセマクナレバ意味(内容)ハ明カニナル。「行ク」

ニテモ意明ナレドモ、何處ナルカ不明ナル故大阪へ

トツケナラズ明瞭ハ増シ、「昨日トシ午前六時・二人

ニテ・汽車ヲ・用事ノ爲等ト附ケ加ヘナバ、出發ノ意

味ノ範圍漸次少クナリ其ノ代リ其ノ意味ハ反間ヲ

要セザルホドニ漸々明ニナル。カクノ如キ工合ニ漸

次廣サヲ狭クシ、明瞭ヲ増ス作用ヲ「限定ス」トイ

ヒ、實ハ「修飾ス」トイフ。副詞ハ即チ用言・助動詞

及ビ他ノ副詞ノ意味ヲ限定スルモノナリ。お花は「今

日始テ最も靜カニ歩送タリ」ノ文ニテ、お花は「歩送

リ」ノ文ニ時日・時間・程度・狀態ノ詳ナル附ケ加ヘ

得タリ。之レ限定セラレテ明瞭性ヲマシタルナリ。

(國文法九二)

(國文法九三)

(二)詞類
意味、作用
組立上ノ分類
性質上ノ分類

參考問題

一 色黒ク瘠セタル人」ト色黒ク瘠セタル人」トノ色

黒ハ作用異ナルカ

二 洋琴ノ音高く低ク響ク」ト

洋琴ノ音高き低きが響ク」ト意異ナルコトナキカ

又第二文ハ如何ナル音ガ

三 ○○黒雲湧キ出テテ強キ風 ○吹キスサア」ノ○

○三副詞ヲミタセ

四 左ノ文中ヨリ副詞ヲ摘出シ其ノ副詞ハ何レノ語ヲ

修飾(限定)セルカヲ告グヨ

ホトト折々叩ク水鶏ノ聲イトアハレニ聞ユ

(四〇年高等學校)

副詞(二)

三 分類(甲)

- 名詞ヨ 今(今行カソ) 昔(昔男テリケリ)
- リ來ル 誠(誠然リ) 今日(今日來ズバ)
- 右ニ似 誠ニ 實ニ 常ニ 並ニ
- ヲ添フ 盛ニ 幸ニ 靜ニ 等
- ヨリ 代名詞 何ゾ 何處ニ 故ニ 何ゾ
- ヨリ 動詞ヨ 凡テ 例ヘズ 敢テ 却テ
- リ來ル 極テ 思ハズ 況ヤ 等
- 形容詞 能ク 久シク 堅ク 甘ク
- ヨリ 珍シク 美シク 等
- リ疊語ヨ 段々 緩々 シカヅカ
- リ熱語ヨ 折惡シク 生憎 兎角
- ハモスレバ 程ナク
- ヨリ 寫生上 カラカラ イツイソ
- ヨリ 接尾語 花見ガテラ 道スガテ
- 二人ツツ 三人ナガテ 等

上立組一

類分二

(三)詞副

意味、作用
組立法ノ分類

性質上ノ分類

參考問題

恐る恐る神前ニ進ミテ願ハクハ神慮ヲ告ゲ
 給ヘトしきリ此類ツキヌ「中ノ副詞ヲアゲヨ
 (四二年東京女高師)

副詞(三)

分類(乙)

時間上	既ニ	今日	始テ	久シク
地位上	前ニ	後ニ	近ク	遠ク
數量上	再々	屢々	折々	偏ニ
數量上	百度	再三	千々ニ	等
分量上	過半	廣ク	大ニ	稍
狀態上	明ニ	必ズ	靜ニ	確然
	猥ニ	シカ	カク	等

意注ノ詞副

一三五四六

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

位置 名詞ヨリ

と

參考問題

猥に發言スルコトヲ停止ス「中」ノ「猥」ハ發言ニカ
カルカ停止ニカカルカ

副詞ノ注意 (國文法九五)

一 比。明透等ニ比トイフ助詞チツケテ、明ニ透ニ等ノ副詞チ作ル。

此ノ形ニ「有」ノツキタル時ハ明透リ、透透リ等ノ形容動詞造ラル。

二 と。赫々・歴々等ニトイフ助詞チツケテ赫々と輝ク。歴々とシテ等ノ副詞チ作ル。

此ノ形ニ「有」ノツキタル時ハ赫々とシテ歴々たる等形容動詞チ作ル。

三 くら。形容詞ノ副詞法ハ副詞ナリ。克く忠ニ・堅く結ブ・篤く謝ス等。

此ノ形ニ「有」ノツキタル時ハ、トトトトガ約リテ「善クアリ」ガ善カリトナル如ク、形容動詞チ形作ル。

四 名詞ヨリ。昔男アリケリ「今日來ズハ明日ハ雪トゾ降りナマシ」等ノ昔・今日ハ本來名詞ナレド、カクナリテハ其ノ用副詞也。

五 名詞ニ。おはれトイフハ感歎詞ナレドモ、名詞トモナリテ轉籍ス。

六 位置。限定モラルベキ直グ上ニアルガ普通。太郎ハよく遊ブ「如シ。詔句チ隔テテ限定スルモアリ、(獵ニ此ノ土手ニ登ラズ)ノ如シ。後ノ場合ハ注意モザレバ、「余ハ腰丘上ニありて兒童ノ嬉戯を見たり」ノ文ニ在リテ「余ガ腰々見タル」カ「兒童ガ腰嬉戯シタル」カ屢不明ナルコトモアリ。

意味

要件 (接續用) 獨立ス

轉來多シ

例

副詞トノ別

詞續接

一 二 三 四 五

參考問題

「霞カ雲カはた雪カ」ト「アシカはたアラザリケリ」トノはたノ意義ノ異同 (四一年五高)

接續詞

意味。二ツ又ハ二ツ以上ノ言ロアラハシテ續ケル

意味ナリ。

二 要件。1 接續用タリ、2 獨立ス。

1 接續用。コレ接續詞ノ主目的ナリ。

サレド單ニ接續ストイハバ「行キテ遊ぶ」ノ「

「行クども行クども水又水」ノ「ども」採レば盡ク

ノ「ば」ナドモ矢張接續ナリ。茲ニオイテ、

ロ 獨立ス。ノ要件アリ。前掲ノ「ども」ば「等

ハ獨立セラレズ。「且」並ニ「又」等ハ獨立ノ價モ

アリ。此ノ二要件ニテヤ、明ニ接續詞ヲ彷彿スル

ヲ得ゾ。

三 轉來多シ。接續詞ハ「及び」並ニ「依つて」等ノ如

ク動詞ヨリ轉來シ、「さては」は「等」如ク副詞

リ轉來スルモアリ。

四 接續詞ノ例。

從ツテ 並ニ 而シテ 或ハ

サレド サラバ サレバ

又 マタ 但 尤

旁 抑 爲レドモ 等

五 副詞接續詞ノ別。左ニ例示セソ。

(副詞) 或ハ。(夫レ或ハ然ラズ)

「シカアラズ」ノ限定(全然デハナク一部分タケ

ハ或ハ「コトニヨルト」然ラズト「シカアラズ」ノ

意味ヲ明瞭ニス)ノ語故副詞ナリ。

(接續詞) 或ハ。(太郎或ハ次郎中ノ一人來レ)ハ太

郎ト次郎トヲ單ニ接續スル故接續詞ナリ。

類語

あて、し、や、つて、は、とも、を、が、ん、を、た

一 花にトモヘトノ區別如何 (三七年東京女高師) 花ヤ咲キナム 花ヤ咲カナム 花見ニトラナム 行

二 花ヤ咲キナム 花ヤ咲カナム 花見ニトラナム 行

三 キケル「」ヲ「」ノ區別ヲ立テヨ (三八年專門校)

例 ナアゲテ「」トイヘル詞ノアラル用法ヲ示セ

(四一年山口高商)

類語(主ナルモノ)

強メ詞 今し太陽ハ中天ニ上リ又必ズシ

サ變 勉強モシ運動チモス

過去 我が見し本。行キし時

助詞 有リ矣無シ矣

感激詞 吾妻ハ矣。珍ラシ矣

助詞 行キて見ル。見て喜ブ

同 取ラて止ム。知ラて過カ

同 煙草チばノマス

同 行カば見ラレソ

同 行ケば見ユ

助詞 天ノ神國ノ神

半過去 疲テ見ツ起キテ見ツ

助詞 幾千代經とも

トトもト 兄とも父とも思フ

上助詞下 感歎 鬼とも(マア)イハソ

體言下ノ助詞 兄ハ頼ル

體言下ノ助詞 思ヒシヒ

體言下ノ助詞 犬を打ツ

體言下ノ助詞 思ヒシヒ

體言下ノ助詞 犬が走ル

體言下ノ助詞 思ヒシヒ

係詞助詞 是カ花ナルガ

希望助詞 行カねん。有ラねん

未來助詞 行キねん。有ラねん

接續詞 山モ乙モ山又川

接續詞 三ヨリテ何レニモ使用セラル。

強メ詞

今し太陽ハ中天ニ上リ又必ズシ

サ變 勉強モシ運動チモス

過去 我が見し本。行キし時

助詞 有リ矣無シ矣

感激詞 吾妻ハ矣。珍ラシ矣

助詞 行キて見ル。見て喜ブ

同 取ラて止ム。知ラて過カ

同 煙草チばノマス

同 行カば見ラレソ

同 行ケば見ユ

助詞 天ノ神國ノ神

半過去 疲テ見ツ起キテ見ツ

助詞 幾千代經とも

トトもト 兄とも父とも思フ

上助詞下 感歎 鬼とも(マア)イハソ

體言下ノ助詞 兄ハ頼ル

體言下ノ助詞 思ヒシヒ

體言下ノ助詞 犬を打ツ

體言下ノ助詞 思ヒシヒ

體言下ノ助詞 犬が走ル

體言下ノ助詞 思ヒシヒ

係詞助詞 是カ花ナルガ

希望助詞 行カねん。有ラねん

未來助詞 行キねん。有ラねん

接續詞 山モ乙モ山又川

接續詞 三ヨリテ何レニモ使用セラル。

副詞

副詞

副詞

副詞

副詞

副詞

副詞

副詞

副詞

副詞

副詞

副詞

副詞

案容許省部文

一 居 恨 死

二 形容詞ノシ

三 過去ノキ

四 異ナリ

五 ハセサス

參考問題

一 蹴るトイフ語ハ下一段活用ナルニ之レチ四段活用

トスルハ許容セラレテアルカ

射るモ四段活用トシテ差支ナキカ

勇マシシ勇マシシノ誤

某ハ罪ザルナリノ誤

收賄官吏ハ拘引ザルニ罰ザルナリノ誤

人ヲ笑ムテ喜ブハ惡シシノ誤

(三九年千葉醫學專)

予ハ直チニ之レガ批評ヲ囁ミテ雖モ遷延未ダ

成ラザリシ...ノ誤

(四〇年仙臺醫學專)

文部省文法許容案(一)

文法上許容スベキ事

(八マテハ上綴ノ末ニ載セタルヲ再出)

一 「居リ」恨ム「死ヌ」ヲ四段活用ノ動詞トシテ用キ

ルモ妨ナシ

(註) 實ハ「居リ」ハ良行變格「恨ム」ハ麻行上二段活

川「死ヌ」ハ奈行變格

二 「シク・シ・シキ」活用ノ終止言ヲ「アシシ」イサマ

シシ「ナド用キル慣用アルモノハ之ニ從フモ妨ナシ

(註) アシ・勇マシガ正シ

三 過去ノ助動詞ノ「キ」ノ連體言ノ「シ」ヲ終止言ニ用

キルモ妨ナシ

例 火災ハ二時ノ長キニ直リテ鎮火セザリシ

金融ノ靜謐ナリシ割合ニハ金利ノ引弛ヲ見ザリシ

(註) キ・シ・シカ。ナレバ「鎮火セザリキ」見ザリ

キ「トスルガヨシ

四 「コトナリ」(異)キ「コトナレリ」コトナリテニコ

トナリタリ「ト用キルモ妨ナシ

(註) 「コトナリ」コトナリテ「コトナリタリ」ハ中

古文ニ用例ナキガ故ニ正シキ文ニハ用キズ

五 「、セサス」トイフベキ場合ニ「セ」ヲ略スル習慣

アルモノハ之ニ從フモ妨ナシ

例 手習サス 周旋サス 賣買サス

(註) 手習・周旋・賣買。等ハ名詞ナリ名詞ガ動詞化

セラルルトキハ必ズ佐行變格ニ活用セザルベカラ

ズ斯クテ「サス」ハ將然形ニ接スル故ニ「、セサ

ス」ノ形トナルナリ

案許省部文

六 ハ、セラル

七 得シム

八 してせし

二一 三 四 五 六 七 八

參考問題

中途ニテ退場スルコトヲ得セシメズ」ノ誤

某氏ハ何日ヨリ旅行せられシ歟

三 汝ハ此ノ問題ヲ如何ニシテ解しし歟」ノ誤

(三三年東京高師)

四 カクハ申せしがバツレニテヨシトイハレシ」ノ誤

(三三年二高)

五 正直ならば人ニ信用さる」ノ誤

(三五年東京女高師)

六 如何ニ勉強さるトモ御身ノ健康ヲシテ損セシメ

ラルナ」ノ誤

(三六年東京女高師)

七 或法律家ノシルせし文ニ「罪人ノ譴責さる所ヲ

人ニ見せシムルハ悪しシト覺ユルナリ」トアリシ

(三八年專門校)

八 試験ニ及第ししヲ以テ入學ヲ許可さる」ノ誤

(三九年千葉醫專)

文部省許容案(二)

六 「、セラルトイフベキ場合三、ナルト用キ

ル習慣アルモノハ之ニ從フモ妨ナシ

例 罪サル 評サル 解釋サル

(註) 「、ハ名詞チアラハサレバ前五ノ理ニヨ

リテ佐行變格ヲ經テ「ラル」ト接續スル筈ナリコト

チ「セ」ト「ラ」ト口調上約メテ「サ」トシタルナリ

七 「得シム」トイフベキ場合三「得セシム」ト用キルモ

妨ナシ

例 最優等者ニノミ褒賞ヲ得セシム

上下貴賤ノ別ナク各其地位ニ安ズルコトヲ得セ

シムベシ

(註) 「シム」ハ將然形ニ接續ス而シテ「得」ハ同行下

二段活用ナルが故ニ其ノ將然形ハ唯「エ」ナリ由ラ

「エシム」トスルガヨシ

八 佐行四段活用ノ動詞ヲ助動詞ノ「シカ」ニ連ネ

テ「暮シ」時「過シ」カバ「ナドイフベキ場合ナ」暮

セシ時「過セシカバ」ナドトスルモ妨ナシ

例 唯一遍ノ通告ヲ爲セシニ止マレリ

攻撃開始ヨリ陥落マテ僅ニ五箇月ヲ費セシノミ

(註) 佐行四段ノ連用形ハ「シ」ナリ之レニ連用形ニ

接續スル「シ」シカ「ガ接續セズ、シシ、ハ

シシカ「ノ形トナル、サルチ」セシ「ノ形トスルヲ許

容セズ佐行下ニモ「セシ」佐變モ異例ニテ「セシ」ナ

ル故凡テ「、セシ」ノ形トナル

案容許省部文

(三)

九

連體形下ノ

一〇

終止形下ノ

一一

終止形下ノとも

參考問題

一 隅田川ニ遊ぶの記 思ハザルの甚シキモノトイフ

ベシ「ノ誤

二

汝ハ此ノ問題ヲ解シ得ルヤ「ノ誤

三

タトヒ日ニ萬金ヲ受ケルトモ我レニ於テハ浮雲

ノ如シ「ノ誤

四

學問ぎさるハソモ「何ノ爲ナリ也」ノ誤

(三六年專門校)

文部省許容案(三)

(以上ハ上綴ニ於イテ既ニ搦グタルモノナリ以下本綴ノ所説ヲ俟ツテ讀者容易ニ首肯スルヲ得シ)

九 テニチハ「ハ動詞、助動詞ノ連體言ヲ受ケテ名詞ニ連綴スルモ妨ナシ

例 花ヲ見ルノ記

學齡兒童ヲ就學セシムルノ義務ヲ負フ。市町村會ノ議決ニ依ルノ限リニアラズ

(註) 「ノアレバ」以上ヲ體言的ト見ルナリ而シテ連體形ハ直接其ノ下ニ體言ノ來ベキ形ナリサレバ體言的トスル要ナキ語ノ下ニ「ノ來ルハ不可ナリ

十 疑ノテニチハ「ヤ」ハ動詞、形容詞、助動詞ノ連體言ニ連綴スルモ妨ナシ

例 有ルヤ 面白キヤ

父ニ似タルヤ 母ニ似タルヤ

(註) 「ヤ」ハ動詞・形容詞・助動詞ノ終止形ノ下ニ接綴スルモノナレバ「有リヤ」「面白シヤ」トスルガ

正シ テニチハ「トモ」ノ動詞、使役ノ助動詞、及

十一 受身ノ助動詞ノ連體言ニ連綴スル習慣アルモノハ之ニ從フモ妨ナシ

例 數百年ヲ經ルトモ 如何ニ批評セララルトモ 強ヒテ之ヲ纏奉セシムルトモ

(註) 「トモ」ハ動詞ニハ其ノ終止形ニ接綴シ形容詞ニハ其ノ副詞形(第二轉)ニ接綴シ助動詞ハ用言ニ接綴スルヲ正規トス

文部省許容案(四)

十二 連體形下ニ

十三 並列ノ

十四 疑問詞下ノ

參考問題

一 ト二ノ三倍ハ八ヨリ多シノ誤

二 死傷者幾何ナリシヤ數ふに堪ザリキノ誤

三 音樂ハ裁縫ハ必ズ女子ノ修ムベキモノナリノ誤

四 洋服ト帽子ノ見本ヲ送レノ誤ヲ訂シ理由ヲモ記

(三八年東京女高師)

(三八年東京女高師)

(四〇年長崎高商)

文部省許容案(四)

十二 ナニナハントノ動詞、使役ノ助動詞、受身ノ助動詞、及、時ノ助動詞ノ連體言ニ連續スル慣習アリ

ルモノハ之ニ從フモ妨ナシ

例 月出ツルト見エテ 嘲弄セラルルト思ヒテ 終

日業務ヲ取扱ハシムルトイフ 萬人皆其徳ヲ稱ヘ

クルトツ

(註) トハ文ノ終止シタル後(後ニ説ク係リ結ビ

ノ結ビ下) ニツクテ正則トス

十三 語句ヲ列擧スル場合ニ用キルラニナハントハ

誤解ヲ生ゼザルトキニ限り最終ノ語句ノ下ニ之ヲ省

クモ妨ナシ

例 月ト花 宗教ト道徳ノ關係

京都ト神戸ト長崎へ行ク

最終ノ「ト」ヲ省クトキハ誤解ヲ生ズベキ例

史記ト漢書①ノ列傳ヲ讀ムベシ

史記ト漢書ノ列傳①ヲ讀ムベシ

十四 上ニ疑ノ語アルトキニ下ニ疑ノてはきは「ナ」

ヲ置クモ妨ナシ

例 誰ニヤ問ハシ 幾何ナルヤ

如何ナル故ニヤ 如何ニスベキヤ

(註) 上ニ何・如何・誰・何處等英語ノ「ト」ノ形ノ下

ニ「カ」ヲオクキ本則トス

但シ「ゾ」ヲ媒介トシテハ例令上ニ疑ノ語アリトモ

下ハ「ヤ」トス「誰ゾヤ」「幾何ナルゾヤ」ト故ツヤ

「スベキゾヤ」等

案容許省部文

(五)

十六

ともども

ニ代ハル

なる

理由書

十五

參考問題

一 東京なる上野公園ハ「東京なる語」ハ青年ノ耳ニ

種ノ響ヲ傳フ「ハ何レカ正シキ

抑人道なるモノハ「ノ誤

彼レ金錢ヲ得ルモ遂ニ貯蓄セズ」ノ誤

タトヒ日ニ萬金ヲ受クモ我レニ於イテハ浮雲ノ

如シ」ノ誤

ともどもノ各ハ動詞ノ策何活用(變化・形)ニ連續

スルカ又如何ナル語ヲ以テ應ズルカ

(三四年二高)

十五 文部省許容案(五) (國文法一〇三)

モ「或ハ」トモ「如ク用キルモ妨ナシ」
 例 何等ノ事由アルモ(アリトモ)議場ニ入ルコトナ
 許サズ 期限ハ今日ニ迫リタルモ(タレドモ)準備
 ハ未ダ成ラズ
 經過ハ頗ル良好ナリシモ(シカドモ)昨日ヨリ聊カ
 疲勞ノ狀アリ
 誤解チ生ズベキ例
 請願書ハ會議ニ付スルモ(ストモ・スレドモ)之ヲ
 朗讀セズ
 給金ハ低キモ(クトモ・クレドモ)應募者ハ多カル
 ベシ

十六 「トイフ」「トイフ」代リニ「ナル」ヲ用キル習慣アル

場合ハ之ニ從フモ妨ナシ
 例 イハユル 哺乳獸ナルモノ 顔回ナルモノアリ
 (理由書)國文法トシテ今日ノ教育社會ニ承任セラレ
 モハ徳川時代國學者ノ研究ニ基キ專ラ中古語ノ法則
 ナ準據シタルモノナリ然レドモ之ニミ依リテ今日ノ
 普通文ヲ律セソハ言語變遷ノ理法ヲ輕視スルノ嫌アル
 ノミナラズコレマデ破格又ハ誤謬トシテ斥ケラレタル
 モノト雖モ中古語中ニ其用例ヲ認メ得ベキモノ妙シト
 セズ故ニ文部省ニ於テハ從來破格又ハ誤謬ト稱セラレ
 タルモノノ中慣用最モ弘キモノ數件ヲ舉グ之ヲ許容シ
 テ在來ノ文法ト並行セシメソコトヲ期シ其許容如何ヲ
 國語調査委員會及高築教育會議ニ諮問セシニ何レモ審
 議ノ末許容ヲ可トスルニ決セリ依テ自今文部省ニ於テ
 ハ教科書檢定又ハ編纂ノ場合ニモ之ヲ應用セントス
 (明治三十八年十二月二日 文部省)

(國文法一〇三)

化轉ノ詞品

一	名詞ニ	動詞ノ名詞形ヨリ
二	名詞ヨ	代名詞ニ
三	動詞ヨ	副詞ヨリ
四	形容詞ヨ	形容詞ニ
五	形容詞ヨ	形容詞ニ
六	形容詞ヨ	形容詞ニ
七	形容詞ヨ	形容詞ニ
八	形容詞ヨ	形容詞ニ
九	形容詞ヨ	形容詞ニ
十	形容詞ヨ	形容詞ニ
十一	形容詞ヨ	形容詞ニ
十二	形容詞ヨ	形容詞ニ
十三	形容詞ヨ	形容詞ニ
十四	形容詞ヨ	形容詞ニ
十五	形容詞ヨ	形容詞ニ
十六	形容詞ヨ	形容詞ニ
十七	形容詞ヨ	形容詞ニ
十八	形容詞ヨ	形容詞ニ
十九	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十一	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十二	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十三	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十四	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十五	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十六	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十七	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十八	形容詞ヨ	形容詞ニ
二十九	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十一	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十二	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十三	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十四	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十五	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十六	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十七	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十八	形容詞ヨ	形容詞ニ
三十九	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十一	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十二	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十三	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十四	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十五	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十六	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十七	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十八	形容詞ヨ	形容詞ニ
四十九	形容詞ヨ	形容詞ニ
五十	形容詞ヨ	形容詞ニ

一 「牛耳」ヲ「牛耳る」トイヒ「てんてん」アルカ「チ」
 くる「トヒ」義太夫ヲ詠る「チ」義太る「ハイカラ」
 ナ「ハイカる」ノ如ク云フトキ又之レヲ轉化トシテ
 認ムベキカ
 二 他ノ詞ヨリ轉ジテ名詞トナリタルモノヲ説ク
 (三八年東京女高師)

參考問題

品詞ノ轉化 (國文法一〇三)

アル品詞(名詞・代名詞・動詞・形容詞・助詞・助動詞・副詞・接續詞・感激詞等ヲ品詞トイフ)ハ其ノ語形ヲ變ゼズシテ他ノ品詞ニ轉化スルコトアリ。之ヲ品詞ノ轉化トイフ。

一 〆モルセ化轉ニ詞名

イ 動詞ノ名 光 霞 氷 遊 詞形ヨリ帶 救 紅葉等 甲 語根 赤白黒等 乙 語根ニ及び。ぎ 深ミ淺ク厚サ等 丙 感激詞ノツキタル語根 ヨリ

ロ 形容詞 終止形ヨリ 船 辛シ 重シ

ハ 感激詞ヨリ アハレ(哀)

ニハ 副詞ヨリ 充 唯

イニハ 代名詞ニ... 御身 妾 君 僕 殿等

ハロハ 副詞ニ... 「昔」男テリ 「露」知ラズ

ハロハ 接續詞ニ... 間 處

ニ 動詞ニ... 1 料ル(料理ヲ) 裝ヅク(裝束) 2 佐戀ニテ 物ス 勉強ス

ホ 形容詞ニ... 事々シ 物々シ 露クシ

イハロ 形容詞ニ... 美マシ 恨メシ 騒ガシ

ハロハ 名詞ニ... 一ノ(イ)ニ出ツ 接續詞ニ... 及び

二 詞名

三 詞動

四 形容詞ヨリ副詞ニ... 早ク 善ク 惡シク等

五 副詞ヨリ接續詞ニ... 又 且ツ 將タ 等

六 感激詞ヨリ助詞ニ... 等

(國文法一〇四)

甲 熟 構 造 語

一 同一語ヲ重ネテ(疊語)

二 同一品詞ヲ重ネテ

三 異ナル品詞ヲ重ネテ

四 接頭語ヲ附シテ

五 接尾語ヲ附シテ

一 意ヲ加フ

二 語調ヲ助ク

三 慣用アリ

乙 接頭語

一 意ヲ加フ

二 語調ヲ助ク

三 慣用アリ

參考問題

一 生(キ)小(チ)初(ハジメ)ナドハ單獨ニテハ語ヲナサズ 生紙・小暗シ・初孫ナドニテ意味ヲナスサレバ之レ亦接頭語ナリカナル接頭語ノ例ヲアゲヨ

二 山川ヲ「ヤマカハ」トヨムト「ヤマガハ」トヨムトニテ意味ニ相違アルカ

三 酒樽ヲ「さげたる」トヨムト「さかたる」ト讀ムトハ意ニ相違アルカ

四 おおみ興・おおみ酒(キ)・おおみ足・おみ帶等接頭語ノ重ナリタルモノヲアゲヨ

甲、熟語ノ構造 (國文法一〇四)

單語ハ重ニ一語ヨリナレドモ、又二語及ビ三語以上ノ相合シテ單語ノ取扱ヒテ受クベキモノアリ。左ニ

一 同一語ヲ重ネテ、(此等ハ又疊語トス)

山々 川川 ヨクヨク 代ル代ル 吾々

二 同一ノ品詞ヲ重ネテ、

山川 泣キ號ブ ニシテ カレコト

三 異ナル品詞ヲ重ネテ、

周旋ス 亭々タル 詳ニ 嘗テ 物語ル

四 接頭語ヲ附シテ、

相成リ 孤熊野 たぬぐ 忌霧

五 接尾語ヲ附シテ、

我レラ 苦シサ 學者ヅル 嬉シガル

乙、接頭語

接頭語トハ、獨立ニ用ヒラズシテ、他語ノ頂ニ接

シテ熟語ヲ形造ルモノナリ。之レニ意ヲ添フルモノ

ト、只語調ヲ助クルモノトアリ。其ノ用法ハ慣用テ

リテ勝手ニ作ルベカラズ。

例 透青 赤 か登クモル おひ濟ム

さ迷フ 忌牡鹿 忌霧 孤吉野 孤空

た走ル た易ク た靡ク か弱シ

か細シ も早ヤ も播ク て痛ク

打ち語テ 打ち笑フ もの悲シ

もの臭シ お鍋 お孤足 孤山

す顔 守手 忌蕃麥 忌地 小暗シ

等ノ上語ノ如ク、凡テ、獨立セラレザル語ナリ。

參考問題

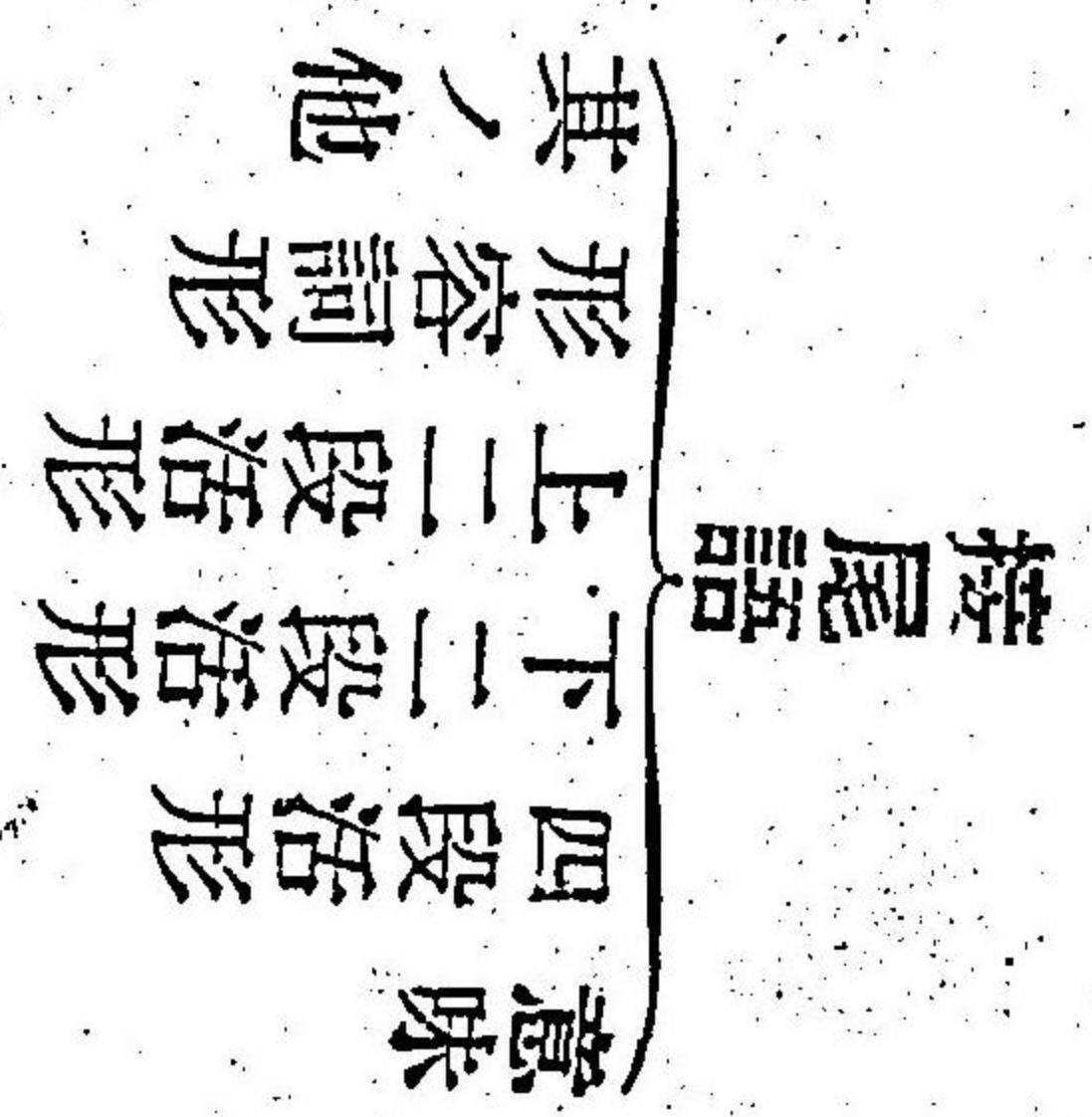
一 形容詞ノ語根ニツク「ミ」「ガ」「サ」ハ何か

接尾語ノ知レルタクキアゲヨ

足輕(ガル)ガ通リカカレバ水カカル足輕イカルお

輕(カル)ツラがる「中」ノ接頭語・接尾語ヲ求メヨ

三二一



接尾語

(國文法一〇五)

接尾語トハ獨立ニ使用セラレズシテ、他語ノ尾ニツキテ、其ノ語ヲ種々ナル品詞トシテ、熟語トナシ、ソレソレノ意味ヲ附スルモノナリ。之レ亦慣例アリテ濫造スベキモノニアラズ。

例 ら(等) どち(達) がおた(方)

ばら(共) たち(達) ぼど(等)

び(氣) ぬ(厚ミ等) ざ(塘シサ等)

つ(數詞ニ)

○四段活用形ナルモノ、

めく がる ぶる めかす

ひ (綱ガレ繋、砥ガレ磨、平ガレ平)

む (舌ムレ舌、腹ムレ孕、爪ムレ摘)

○下二段活用形ナルモノ、

る (屑ルレ崩、首ルレ繪)

ぬ (塚ヌレ束、蓄ヌレ重)

○上二段活用形ナルモノ、

ぶ (古テ、里テ、田舎テ)

○形容詞形ナルモノ、

がまし らし たし

其ノ他、つ(ごと)(毎) すがら(夜モスガテ) ながら、及び、副詞トナルニ「靜ニ」ノ「に」ノ如キ助詞モ又接尾語ノ用ナラス。

形音用

参考問題

聲音學ニテハ音ノ原料ヲ聲(呼吸ガ聲帶ニ觸レテ發スルモノ)ト息(呼吸ガ聲帶ニ觸レザルモノ)トナシ息ヲ原料トスル父音即チP T Kノ如キヲ清音トイヒ聲ヲ原料トスル父音即チB D Gノ如キモノニテ聲ヲ破裂シ又ハ摩擦シテ生ズル音ヲ濁音トイフ更ニ又聲ヲ口腔ノ反響ニヨリテ發シテ破裂摩擦ナドセヌヲ母音トイヒ母音ト同様ナルモノヲ口ヨリセズニ鼻ノミニ抜クシムルヲ鼻音トイフ之レ等ノ基音ヲ配合シテ成熟音ヲ作ルナリ

音一

一 二 三 四 五 六

音

母音

父音

成熟音

撥音

促音

(國文法一〇六)

文章篇(音) (國文法一〇六)

一 音。耳ニテ聞カルルトハ皆音ナリ。サレド文法

上ノ音ハ肺臟ヨリ呼出スル空氣ガ聲帶(ノドボトク

中ニアリ)ヤ、口唇・鼻齒・舌等ノ助ニヨリテ耳ニ

キコユル音聲トナリタルモノニ限ル。勿論何等ノ意

味ヲモアラムサヌモノナリ。今聲音學上デハナク舊

慣ニヨレル、普通ニイハユル音ニ就キ述ベトス。

二 母音。音ノ内ニテ「ア・イ・ウ・エ・オ」ヲ母音トイ

フ。何程長ク引キ延バシテ發音ストモ、始終同音也。

三 父音。「カキククコ」ナドノ各音ヲ引キノバシテ發

音スルトキハ、各音ノ終リハ「カ...ア...キ...イ...

ク...ウ...ク...エ...コ...オ...」ノ如ク、「アイサエオ」

ノ母音トナル。此ノ「カキククコ」各カラ、順次ニ

「アイサエオ」ノ母音ヲ取り去ルトキハ、曖昧ナル

「ク」ノ如キ音、正シク云ヘバ羅馬字ノ「R」ノ音ガ殘ル

ベク、サ行々行...ワ行モ、同様ニ試ムル時ハ遂ニ

「ク」ノ音ヲ失フ。即チ羅馬

字ノ大體 k s t h w 濁點ノアル音ニテハ

「グ」ノ音ナルヲ發見スベシ。之レヲ父音トイフ。

四 成熟音。前條ノ父音ト母音ト相結合融和シテ成リ

タル音ヲ成熟音トイフ。日本ノ言語ノ本チナス音ハ

此ノ母音・父音・成熟音拗音ヨリ成レルナリ。

六五 撥音。シ(ル)音ハ奈行音ノ父音ノ一名也。

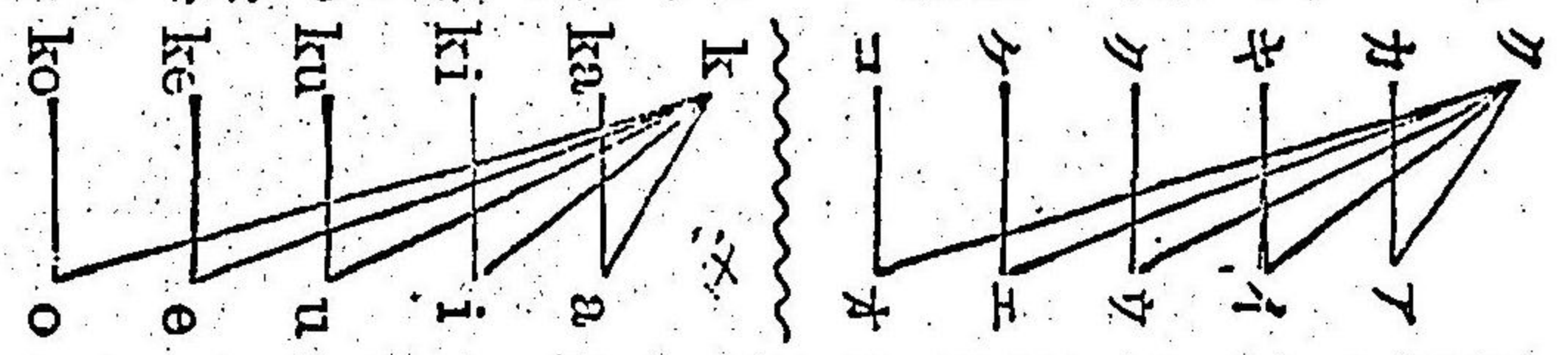
促音。「ラッパ」ノ「ッ」ノ如キハ無聲休息音ナリ。

音(二)成熟音
音ノ表

一 岩ニ葡萄ノ這ツテ中ル模樣芽ハ赤ク葉ハ白ク染メ
テクレ「チ總假字ニカキテ不動尊ノ事トシテヨミ
テ見ヨ
マガリ出テ葉陸ニ見ユル櫻カナ「ノがチカトシ葉
チ潤リテヨマバ意味如何
ホトトギスホトトギスギズニスツマツク
本號ノ音ノ名稱ハ舊慣ニヨリタルナリテ見ヨ
的ニ解セシ「ニハ勢ヒ前號ニ記セル分類ニヨラザル
カラス
拗音ハ行お行音ガ他ノ父音ト結合シテ(キヤツヤ
鼻音ニハ三種アリ次ノ例ニ付キテ詳ニ吟味セヨ
煎餅。今年。團子
五十音ノあ行お行ヲ片假字平假字及ビ羅馬字
ノ三様ニ記セ
(三七年東京高師)

成熟音 (國文法一〇七)

成熟音ノ生成。父音母音結合シテ成熟一音生ズ。



サレバ各成熟音ヲ延聲スレバ、其ノ終ハ皆母音タル「ア」イ「ウ」エ「オ」トナリ、成熟音中ヨリ「ア」イ「ウ」エ「オ」ヲ去リタル残りノ音ハ父音トナルナリ。(父音ニ就イテハ成熟音ノ羅馬綴中、母音ヲ去リテ檢出スレバ容易ニ見出サル。)

父音 列列列列
ア イ ウ エ オ

(成熟音中ニハ) 阿行ヲ省ク

..... 母音

阿行	ア	イ	ウ	エ	オ
加行	カ	キ	ク	ケ	コ
サ行	サ	シ	ス	セ	ソ
タ行	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ行	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ行	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ行	マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ行	ヤ	ユ	ヨ	エ	オ
ラ行	ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ行	ワ	ヰ	ヱ	ヱ	ヱ
ガ行	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
ザ行	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
ダ行	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ行	バ	ビ	ブ	ベ	ボ
パ行	パ	ピ	プ	ペ	ポ

直音

濁音

成熟音

右ノ外拗音アリ..... 拗音

文言

- 一 單語
- 二 言語
- 三 假字 (片假字)
- 四 文字 (平假字)
- 五 訓

- 讀方 (音讀・訓讀・湯桶讀・重箱讀・百姓讀)

參考問題

- 一一 變體假字萬葉假字トハ何カ
一文中片假字ト平假名ト交ヘテカキテモヨキカ
- 三二 左ノ文字ヲヨミ吳漢唐音ヲ分カテ
京都 京師 南京豆
明日 明治 明朝
起請文 請求 普請
- 四 香港ヲ倭人トシ芝罘ヲちいふるトヨムハ何音カ元
王ノ忽必烈ヲふびらいたヨムハ何音カ
- 七六 敷地・奥行・身分ナドハ何讀カ
緬爛ナじゆんらん喫烟ヲせつえんナドヨムハ何讀カ

文 文法

(國文法一〇九)

一 文文ハ文章。適當ナル單語ガ適當ナル順序ニテ集

マリテトマリタル思想・感情ヲ發表シタルモノナ

文文ハ文章トイフ。(後段々々文法的ニ文ヲ云ヒアラ

ハサシ)

サレバ右ノ條件ニカチヘバ文ノ長短ハ問フ所ニアラ

ズ。少クモ普通ニ語以上アラバ文ハ構成セラレベシ。

例

カク (蚊來) ヒフ (日經)

花落ッ

太郎犬ヲ打ッ 獵師山ヲ見ズ

彈丸敵ニ中ル 鏡ハ柱ニ懸カル

教師生徒ニ文法ヲ教フ

我レハ春ヲ愛シ君ハ秋ヲ賞ス

親子ヲ愛スレバ子勵ミ子親ヲ敬ヘバ親喜ブ等

二 口語文・文語文。口語ニテ綴レル文ヲ口語文トイ

ヒ、文語ニテ作レル文ヲ文語文トイフ。文法上ニテ

ハ其ノ口ニ稱フルト其ノ文字ニ書キアラハストニ論

ナク、前述ノ條件ニ叶ヘバ則チ文文ハ文章トイフ。

サレバ通常作文上ニ云フ文ノ意ト全ク同ジキモノナ

ラザル場合モアリ。

三 文法。文及ビ其ノ材料タル語等アル以上ハ、又之

レガ發表ノ規則ナルカレカラス。之レヲ文法トイフ、又之

典トイヒ、各國ソレソレ異ナル文法アルヲ以テ、

四 國文法。トイフモノアルハ自然ノ數ナリトス。

分成ノ文

主成分 說明語
副成分 補足語
修飾成分 客語

參考問題

一 春ハ暖ク夏ハ暑ク秋ハ涼シク冬ハ寒シク中ノ主語

說明語ヲ示セ

二 コロビタル所ニテ土迄ツカメ「論ヨリ證據を取レ」

中ヨリ客語ヲ選ベ

三 果報ハ寢ヲ待テ牡丹餅ハ棚ニアリ「中ヨリ補足語

ヲ選ベ

四 お花ハ鶉ニ餌ヲ與ヘタリ「博愛衆ニ及ボシ」中ノ

成分ヲ示セ

五 甚だ面白き話ヲわざ目もぬら守聞き居たるお梅ハ

よもすがら一度もアケビナドセザリキ「中ヨリ修

飾成分ヲ抽ク

文ノ成分 (國文法一〇)

文ノ成分。前ニ述ビタル如ク文又ハ文章トハ適當ナル單語ガ適當ナル順序ニ集マリテマトマリタル思想感情ヲ發表シタルモノナイン。故ニ其ノ要件ハ、

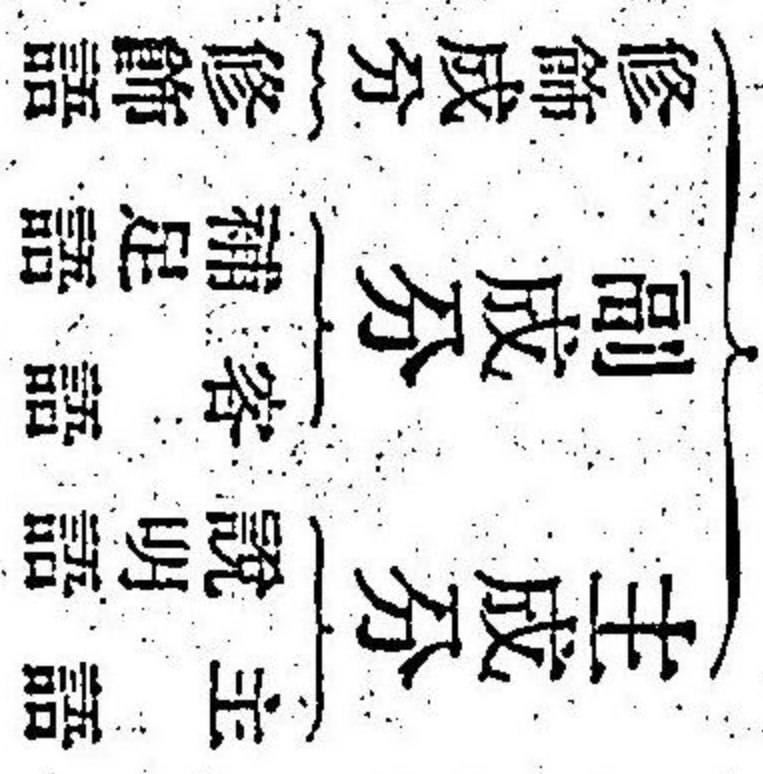
- イ 適當ナル單語、
- ロ 適當ナル順序、
- ハ トマリタル思想・感情ヲ發表スナリ。

サレバ「教師ハ生徒ニ文法ヲ教フ」ハ文トイフヲ得ベシ。此ノ文ニキ付テハ「マトマリタル發表ノ要件ニ適スル爲ニ」教師ハ「生徒ニ」文法ヲ「教フ」四成分アリ。此レ等ヲソレゾレ(一)主語(二)補足語(三)客語(目的語)(四)說明語トイフ。又更ニ考フルニ、以上ノ文ニ於テ「マトマリタル」則チ「マトマリテ」アレドモ、更ニ、

「深切ナル教師ハ熱心ナル生徒ニ至難ナル文法ヲ丁寧ニ教フ」

トセバ前ニ比シテ更ニワカリヨキ文トナルベシ。此ノ「親切ナル」熱心ナル「至難ナル」「丁寧ニ」等アレバ一層其ノ文ガ限定セラレテ明了トナル是等ノ語句ヲ修飾成分トイフ。又文ニハ「花ガ落ツ」ノ如ク前々文ノ「教師ガ」教フニ相當スルモノニテ而モ「マトマリタル」文トナルアリ。故ニ如何ニ短カキ文ニテモコレヨリ缺クベカラズトイフ成分即チ主語・説明語ヲ主成分トイヒ、アル文ニカギリテ必要ナル成分即チ前ノ「生徒ニ」文法ヲ「」如キ補足語・客語ヲ副成分トイフ。

說分ノ成分 (一)



參考問題

- 一 商家ノ看板モバタ工夫ヲ凝ラシテ新奇ノ意匠ヲ出スモノアリ「各成分ニツクテ見ヨ」
 - 二 逢阪ノセキノ清水ニカガ見エテ今ヤ叟クラム望月ノ駒「ノ主語客語說明語修飾語ヲ示セ」
 - 三 昨日ハ東ニ奔リ今日ハ西ニ走ル「テ文章法上ヨリ解剖セヨ (四一年一高)
 - 四 左ノ文ヲ品詞ニ分解シ且別ニ其ノ主語ト述語トヲ指示セヨ (四二年専門校)
- 古ノ聖賢ト聞エシ人モ世ノ疑ヲ免レ給ハヌ事多カリ。正シキ證ナカラソニハ慢ニ人ヲ疑フベカラズ。

成分の分説(一) (國交法一一)

主語…文ノ題目
 主成分…説明語…題目ノ有様・動作ノ目的
 客語…主語ノ動作ノ目的
 補足語…動作ノ落チ付ク語
 修飾成分…修飾語…他成分ノ意味明瞭

1 主成分 主成分トハ如何ニ簡單ナル文ト雖モ缺

クベカラザル成分ナイ。少クモ之レヲ缺キテハ

文ニ非ズ。「花ガ落ツ」如シ。之ニ成分アリ。

A 主語。ハ其ノ「ニシテ」凡テ文ノ題目トナル語

ナリ。前文ノ「花ガ」ハ即チ之レナリ。

B 説明語。ハ其ノ「ニシテ」題目タル語ノ有様、

動作ヲ述ブル語ナリ。前文ノ「落ツ」ガ題目タル

花ノ有様ヲ述ブルガ如キ之レナリ。

ロ 副成分。最モ簡單ナル文ハ主語・説明語ノ主成

成分ニテハトマリタル思想・感想ヲ發表スレド

モ、時ニ又主要語ノ動作ノ目的トナル語又ハ主要

語ノ動作・状態ノ落チツク語ナクハバトマキマ

文モアリ。前文ガ「教師」ハ教ラ「タケナラバ」、

マキマキ證據トシテ讀者ハ直ニ「何ヲ」誰ニ「問キ

發スベシ。此「何ヲ」ニ答フルニ、

A 客語一名目的語。トテ主語ノ動作（此ノ動作

ハ他動詞ニテ成レル説明語ニテアラハス）ノ目

的ヲ以ツテス。前文ノ「文法ヲ」ハ即チ之レナリ。

又「誰ニ」ニハ

B 補足語。トテ、其ノ動作・状態ノ落付カ「生徒

ニ」ノ語ヲ示シテ之レニ答フベシ。

成分ノ分説(二)

主成分 { 主語
 説明語 }
 副成分 { 客語
 補足語 }
 修飾成分 { 修飾語

(國交法一一三)

參考問題

一 左ノ新體詩中ヨリ修飾成分ヲ選ベ

タノシ汽車ノ旅 走ル梢トゾ野山
 アレアレ後ニ 見ル見ルカシロニ
 吹ク風行ク水 飛ブ鳥咲ク花
 タク窓ヲ 過ギテツツ行ク

二 「今日」トイフ語ヲ修飾語ニセル文ト主語ニセル文
 トチ一ツツツ作レ (四〇年東京高師)

三 子ドモハ餘念ナク鞍ヲ追フ池ノ鯉魚ヲ見守ルノ
 文ヲ成分ニ解剖セヨ (四一年八高)

成分ノ分説(二) (國文法二二三)

ハ 修飾成分、サレバ「教師ハ生徒ニ文法ヲ教フ」トイフ發表ハ、思想ハ「マリアアリ。サレド尙ホ注意深キ讀者ハ「如何ナル教師ガ」如何ナル生徒ニ「如何ナル文法ヲ」如何ニシテ教フ」ト問フナルベシ。之レニ答ヘテ、深切ナル講者ハ「深切ナル教師ガ」熱心ナル生徒ニ「至難ナル文法ヲ」丁寧ニ教フ「ト答フルナルベシ此ノ」深切ナル「熱心ナル」至難ナル「丁寧ニ」如キ、一層明了ナラシムル成分ヲ修飾成分トイフ。故ニ、
 二 文又ハ文章ノ意味、ハ「少クトモ主語・説明語ヲ有シ」或文ハ此ノ外更ニ客語・補足語・修飾語ノ内一又ハ一以上ヲ有セザルベカズ」ト云フを得ベシ。
 三 注意。
 甲 附屬語。教師ガ「生徒ニ」文法ヲ「教フル」ナリ「ガ・ニ・ナリ」ノ如キ助詞・助動詞ハ、本來獨立セラレザル語故、各其ノ上ニアル語ニ附屬セシム。附屬トハイヘドモ實ハ此等附屬語ノ力ニヨリテ各成分ハ其ノ官能ヲ盡サルモノナリトス。
 乙 主部。主副成分ニ修飾成分ノ附キテ、主副成分ガ單語ノ域ヲ脱シタル時ハ之レヲ主部・説明部・客部・補足部ナド部ノ字ヲ附ス。即チ、部ハ長ク、語ハ單語ナリ。
 丙 説明語ニ「状態・動作」ナドイヒタルガ「有リ」ト無シ「ナド」ノ語ハ前者ニ當タリ「走ル」ト「食フ」ナドハ後者ナリ。
 丁 複雜文。複雜文モ此等成分ノ複雜形ニスギズ。

參考問題

- 一 勉強 忍耐 ノ文字ヲ用ヒテ主語・客語・補足語・説明語ヲ作りテ各文ヲカケ
- 二 同一ノ名詞ガ主語・客語・補足語ナドトナルハ何ノ助ニヨリテナルカ
- 三 次ノ文ヲ品詞上並ニ文章上ヨリ解剖セヨ
 櫻チル木下風ハ寒カラテ空ニ知ラレヌ雪ヅ降りケル
 (三六年專門校)

ル構成成分
 一 品詞

- 一 主語・客語 (體言ト)
- 二 補足語 (助詞ト)
- 三 説明語 (助詞ト)
- 四 修飾語 (助詞ト)

成分ヲ構成スル品詞(一)

成分ヲ構成スル品詞。

一 主語・客語・補足語・體言(名詞・代名詞)又ハ體言ノ取扱ヲ受クベキ語ヲ元トナシ、

之レニ助詞ノツキタルナリ。附屬助詞ハ、

一 主語。重ニ「ハ」ガ「ノ」(人ノ物ノ)ニアラス

シテ人ノ行クノノ如シ「モ」等ガ附ス、

ハロ 客語。他動詞ノ目的ヲ指示呼出スル「ナ」ヲ附ス。

補足語。重ニ「ト」ニ等ヲ伴フ。

但、此等ノ助詞ハ時ニ略セラルルコト多シ。

花(ガ)落ッ 書(チ)讀ムガ樂シ

彼レハ英雄(ニ)候 等ノ如シ。

二 說明語ヲ構成スル品詞ハ、用言(動詞・形容詞)及

ビ用言ノ取扱ヲ受クベキ品詞ナリ。(助動詞・感動詞・

助詞ノ伴フコトモアリ)

…堅シ ……燒クタリキ

…怒ルナ ……有リヤ無シヤ 等

時ニ「構正成」ハ忠臣ナリ「ノ如キ文アリ。此ノ說明語

ハ「忠臣ナリ」カ「ナリ」カト思ヒマドフ事アリ。「忠

臣」トイフ名詞ハ說明語ヲ構成セズ「ナリ」ハ助動詞

ニテ獨立出來ヌト思フニヨレバナリ。サレド、「ナ

リ」ハ「ニ有リ」ノ意トシ、「忠臣ニ」ナ「有リ」ノ修飾

語トシテ、「有リ」ヲ說明語ト見ズ又至ツテ易キ問題

トナル。

成分ヲ構成スル品詞(二)

說明語

修飾句 附

一 主語・客語・補足語

性質

用言ヲ

體言ヲ

組織

句ニテ

文ニテ

三二一

參考問題

美シキ花ナリ 此ノ面白キ本ハ「ナド」ハ句ナルカ

修飾 限定ノ意味ナシ

左ノ文中ヨリ副詞ヲ摘出シ其ノ副詞ハ何レノ語ヲ

修飾(限定)セルカヲ告グヨ

ホトホト折々叩ク水鶏ノ聲イトアズレニ聞ユ

(四〇年高等學校)

成分ヲ構成スル品詞(二)

三 修飾語ヲ構成スル成分

修飾語ハ各成分ヲ修飾スルモノナリ。而シ各成分中、主語・客語・補足語ハ犬ハ(三)走ルノ如ク、其ノ上部ニ犬ノ如キ體言(或ハ體言的)ノ品詞ヲ有シ、既

明語ハ走ルノ如ク用言(用言的)也。サレバ修飾語ハイ 體言(體言的)ヲ修飾スルモノト、ロ 用言(用言的)ヲ修飾スルモノト、

ノ二種アルベシ。(イ)ハ用言・助動詞ノ連體形又ハ助詞中ノ體言ヲ接續セシムル語等ヲ含マザルベカラ

ス。(ロ)ハ説明語タル用言ヲ修飾スル副詞ナラザルベカラズ。之レ修飾語ニ二種アル所以ナリ。而シテ

ハ口 句ニテ成ルコトアリ。イ 語ニテ成ルコトアリ。ハ口 句ニテ成ルコトアリ。

(註) 句。互ニ相關係セル適當ナル單語ガ適當ナル順序ニテ集マリテ文ノ修飾成分又修飾成分ノ一部

分ヲナスモノヲ句トイフ。(形容句・副詞句等ノ類アリ) (單語トイハタルハ獨立ノ出來ザル彼ノ助

例 學校ノ庭 甚ダ心配セル 思ヒヨリ 易ク知ルモノ 甚ダ重ク 稀ナル 去ル年ノ 秋ヲヌモ 照ル月ノ 秋ノサカリ 水ノ隈 田川ニ 都鳥 三言間ヒケル川ニ 等

(一) 例語修飾

- 一 主語・客語
- 二 說明語
- 三 修飾語
- 四 並列修飾語・漸層修飾語

參考問題

- 一 楓ハ木ニテ作り書ヲ讀ムニ用フルモノナリ。ハ楓ハ實ハ「楓」ニテ主語ハ「大工」ノ如キモノガ略セラレテアリト云フ信カ
- 二 左文中ノ修飾語ヲ選ビ其ノ何ヲ限定スルカヲ認ケ吾等ハ三三五五隊ヲ組ミテ散步セリ
- 高イ山カラ谷底ヲ見タ
- 余ハ鮮明ナル色ヲ甚ダ好ム
- 敬慕セル舊師ハ昨日桐ノ一葉ト諸共ニ遂ニ泣キ悲シム我等ヲ後ニ呼ビドカヘラヌ彼ノ國ヘト逝キ給ヒヌ

修飾語例(一) (國文法一一五)

1 主語・客語・補足語ノ修飾部例。()内ガ修飾部。
1 語ニテ成ルモノ。

(遊フ)友ハ多シ
動詞ノ連體

彼ハ(遊フ)友ヲ誠メタリ

彼ハ(遊フ)友ニ訓言ヲ興ヘタリ

(赤キ)金屬ハ銅ナリ
形容詞ノ連體

余ハ(赤キ)金屬ヲ見タリ

學者ハ(赤キ)金屬ニ銅ト命名セリ

(行キタル)使ハ歸リス
動詞十助動詞

(凛々タル)勇士ハ勝チヌ

(我が)事ヲハシリ
名詞十助動詞

句ニテ。(泣キ叫ブ)者多シ
代名詞十助詞

文ニテ。(學生ノ學ブ)學科ハ甚ダ多シ
(余ガ常ニ兄事シタル)畏友ヲ死ノ神ハ奪ヒヌ

1 說明語ノ修飾部例。()内ガ修飾部。

1 語ニテ。彼ハ(善ク)勤ム

賊(遂ニ)降ル 矢玉ハ(雨霰ト)飛ブ

口 句ニテ。彼ハ(甚ダ良ク)畫キヌ

我ハ(電車ニ乘リテ)學校ニ通フ

ハ 文ニテ。我ハ明日(天氣ガ善クレバ)行カヤ
(子親ニ孝ナレバ)親喜ブ

3 修飾語ノ修飾部ノ說明語ノ修飾部ト同様ナリ。

彼ハ(甚ダ)善ク畫ク

2 並列修飾部ト漸層修飾部ト

2 以上ノ修飾部ガ上ハ下ノ修飾部ヲ修飾シ、

ノ修飾部ガ其ノ下ヲ修飾スルモノヲ漸層修飾トイフ

又ルモノヲ並列修飾部トス。

四

ノ修飾部ガ其ノ下ヲ修飾スルモノヲ漸層修飾トイフ
又ルモノヲ並列修飾部トス。

三

修飾語ノ修飾部ノ說明語ノ修飾部ト同様ナリ。

ハ

文ニテ。我ハ明日(天氣ガ善クレバ)行カヤ

口

句ニテ。彼ハ(甚ダ良ク)畫キヌ

1

語ニテ。彼ハ(善ク)勤ム

二

說明語ノ修飾部例。()内ガ修飾部。

ハ

文ニテ。(學生ノ學ブ)學科ハ甚ダ多シ

ハ

句ニテ。(泣キ叫ブ)者多シ

代名詞十助詞

名詞十助動詞

動詞十助動詞

形容詞ノ連體

動詞ノ連體

修飾語例(二)

- 一 漸層修飾ノ例
- 二 並列修飾ノ例
- 三 兩意ノ修飾例

其他ノ總獨立語

成分

總獨立語

四

獨立語ヲ示セ

三

春ハ花ガ咲ク時タ「梅ハ香ガヨイ」ノ總主ヲ示セ

二

諸君ヨ諸君ヨ滿堂ノ諸君ヨ吾人ハ諸君ニ向ツテ今日...

一

甚ダ困難ナル事業ヲナシテコソ人ハ其ノ力量ヲ自信ス

參考問題

左ノ修飾語ヲ類別セヨ

彼ハ面白可笑シク一生ヲ終ヘタリ

更ニ甚ダ極端ナル例ナレバ...

敏捷ニ精密ニ且ツ溫和ニ其ノ局ヲ結ベリ

諸君ヨ諸君ヨ滿堂ノ諸君ヨ吾人ハ諸君ニ向ツテ今日...

日...「中ヨリ獨立語ヲ見出ダセ

春ハ花ガ咲ク時タ「梅ハ香ガヨイ」ノ總主ヲ示セ

瓢々瓢々吾レ汝ヲ愛ス「月ヨ昔ノ物語セヨ」中ノ

修飾語例(二) (國文法二一六)

一 漸層修飾ノ例。

(世々飢エタル狼ノ如ク)咬ミ付キタリ

「狼ノ如ク」ハ「咬ミ付ク」ヲ修飾シ、其ノ「狼ノ如ク」

ヲ更ニ「飢エタル」ガ修飾シ、其ノ「飢エタル」ヲ更ニ

「世々」ガ修飾セリ。故ニ「世々」飢エタル「狼ノ如ク」

ク」ハ並行シテ「咬ミ付ク」ヲ修飾シテハ居ラズ。

二 並列修飾ノ例。

(智ナル仁ナル勇ナル)越前守ハ……)

「智ナル仁ナル勇ナル」ハ漸層的ナラズシテ、皆並列

シテ越前守ヲ修飾セリ。

三 兩意ヲ有スル修飾部。

(恐ロシイチカラナ)人が居ル」

「恐ロシイ」ガ「チカラ」ヲ修飾シ、ソレガ人ヲ修飾ス

トモ、又「恐ロシイ」人「チカラナ」人トモ解セラル。

○其ノ他ノ成分。主語・説明語・客語・補足語・修飾語・部

ヲモ)ノ外更ニ二成分アリ。

一 總主語。主語(部)説明語(部)等ノソナハリテ一ツ

ノ完全ナル文ヲ成セル其ノ文ヲ、更ニ説明語ノ様ニ

見ナシテ更ニツノ主語トナル主語ヲ總主語トイフ。

()ガ總主語。

(象は)鼻が長イ (電氣は)ラソクリンが發明シ

タルモノナリ (落花)情有リ (金剛石は)産出シ

二 獨立語。呼ビ掛ケ又ハ感歎語ナド之レナリ。

(アハレ)花散リヌ 大島君、君ハ文法ヲ知ルカ等

枕詞及序

參考問題

左ノ枕詞ヲ用ヒテ短文ヲ作レ、(丙)其上ノ枕詞、

下ニクル字面ナリ) 秋津島(大和)

足引(山)

青丹吉(奈良)

イソノカミ(布留)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

ウツカク(消エテ)

國文法二一七

枕詞及び序 (國交法一七)

一 枕詞。修飾語ノ一トシテ枕詞トイフガアリ。古來ノ慣例アリテ其ノ數ニモ限りアリ。其ノ用法ニモ定マリアリ。濫造誤用スベキニアラズ。重ニ五言・四言ヨリナリ和歌ノ調ヲ整フルニ用ヒラル。其ノ意味モ不明ナルガ多ク、初學者ハ賀茂眞淵ノ冠辭考ナドニ就キテ大意ヲ求ムベシ。其ノ種類トシテハ、名詞ヲ修飾スルモノ、動詞ヲ修飾スルモノ、形容詞ヲ修飾スルモノ、副詞ノ用ヲナスモノ等アリ。例ヘバ次ノ(内)如シ。

- (シキシヤノ)大和「アツサユミ」引ク
- (ヌバタヤノ)黑髪「アチニヨシ」奈良
- (ウツセミノ)世「クサヤクラ」旅
- (ツラミツ)大和「オシナル」難波 等

二 序。序トハ和歌・古文等ニアリテ他ノ語チ、引キ出

サシタメノ助ケトシテ、前置キノ如ク言フ語ニシテ、後ニ多少ノ意味ヲ本文ニモツモノナリ。枕詞トノ異點ハ語數ニ制限ナク、必ズシモ舊慣ヲ守ルベキモノニアラズ等ノ所ニアリ。

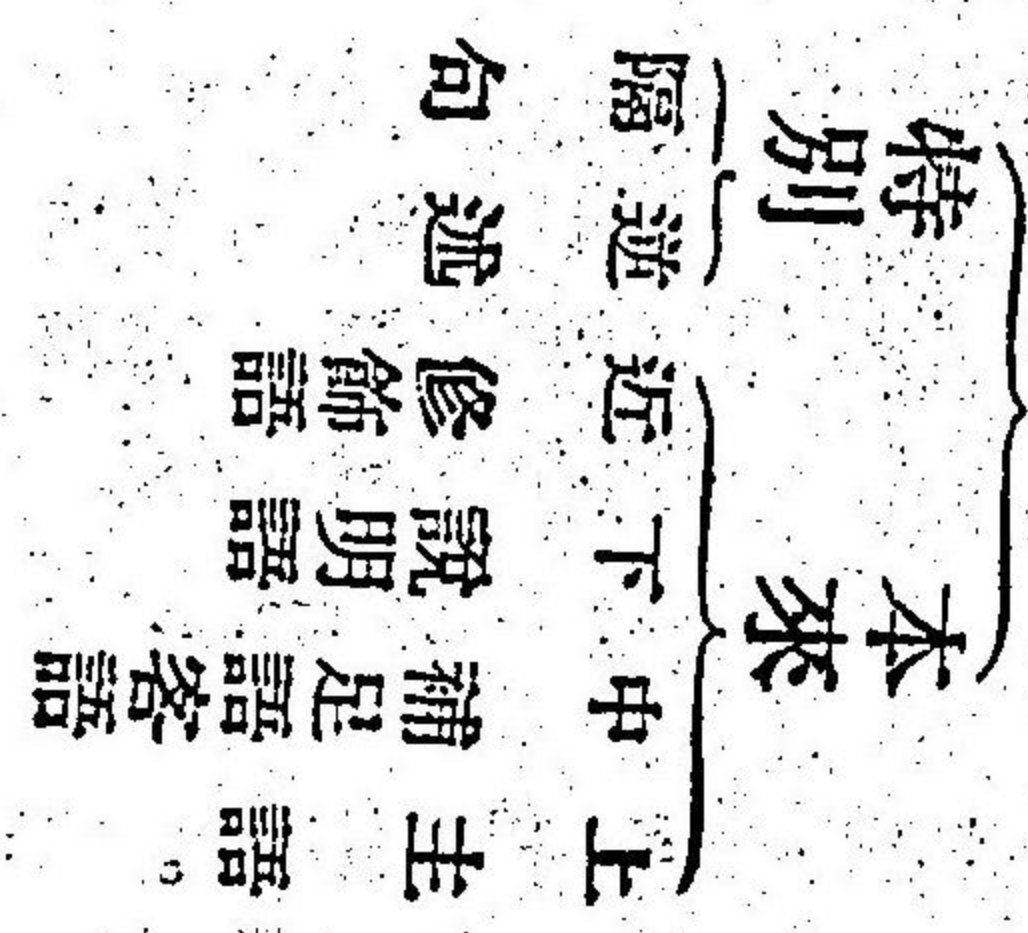
例 (足引ノ山鳥ノ尾ノシダリ尾ノ)

長々シ夜ヲ獨リカモ寝シ

上句ハ下句ノ(長)チ引キ出ス爲ノ序トシテ、長キモノナシトスル序ナリ。又後ニ意相關ストハ、山鳥ハモソ雄相分レテ山ノ此方彼方ニ獨寝ル故「獨リカモ寝

ソ」ニ應ズル如キチイフ。又後ニ意相關ストハ、山鳥ハモソ(柴ノイホリ)ノシバシナル世ニ(ウキテ流ル泉川)イツミキトテカ 等

成分ノ位置



參考問題

- 一 雲ノ何處ニ月ヤドラルゾ「ヲ普通發表ニ改メヨシテ見ヨ
- 二 年クレヌ笠キテ草鞋ハキナガラ「ヲ普通ノ發表ニ美ナルガナ山河ノ固メ「知ラズ何レカ可ナルヲ」ノ逆句ヲ普通形ニ正セ
- 三 美ナルガナ山河ノ固メ「知ラズ何レカ可ナルヲ」

成分ノ位置 (國文法二一八)

一 本來ノ位置。

イ 主語ハ初メ、説明語ハ終リ、客語・補足語ハ中間ニアルヲ常トス。客語・補足語ハ兩者何レヲ先キニシテモ可ナリ。

花(主)落ッ(説)、花(主) 實ナ(客) 結ブ(説)

子(主) 母ニ(補) 似ル(説)

教師ハ(主) 生徒ニ(補) 文法ヲ(客) 教フ(説)

教師ハ(主) 文法ヲ(客) 生徒ニ(補) 教フ(説)

ル 修飾語ハ其ノ修飾(限定トモ)スベキ語ノスグ上ニアルヲ本體トス。

(イサシキ) 姉ハ(小サキ) 妹ニ(美シキ) 花ヲ(多ク) 興ヘタリ」ノ如シ。

二 特別ノ位置。

主意ヲ強クイハソガ爲(強意文・命令文・感歎文等)、口調ヲ整フル爲(詩歌等)、文ノ成分ハ屢本來ノ位置ヲ變ズル事アリ。

思ハザリキ(説) 今日又白旗ヲ見シトハ(主)

行ケ行ケ(説) 君ハ(主)

思ヒキヤ(説) 「我レハ」雪ヲミ分ケテ君ヲ見シトハ

(主) 修飾語モ又語句ヲ隔テテ修飾スル事アリ。

(猿ニ) 此ノ土手ニ「隈ニ」登ルベカラズ

(ユメユメ) 此ノ掟「ユメユメ」ヲ犯シテ

(昔) 男「昔」アリケリ等

略省ノ分成

修飾語ノ位置ノ注意

主語ヲ略ス

説明語ヲ略ス

客語ヲ略ス

補足語ヲ略ス

修飾語ヲ略ス

主語説明語ヲ略ス

(國文法二一九)

三二一

參考問題

サカデスカ、オメテタウ...」ノ省略チアゴヨ

況ソヤ人間ニカイテサヤ...」ノ省略チアゴヨ

左歌ノ() 内ハ何チアラハスカ

秋モ(最中ノ) 秋、今宵モ今宵、月モ (十五夜)

月) 月、處モ(賀陽院) 處、見ル君モ(前關白) 君

(後拾遺光源法師ノ作ナリ)

修飾語ノ位置ノ注意

一 修飾語ガ本來ノ位置ニアラトキハ、往々曖昧ナル文ヲナスコトアリ。注意スベシ。即チ、

余ハ高キ山ヲ(甚ク)好ム (甚ク好ム)
余ハ(甚ク)高キ山ヲ好ム (甚ク高キ山)

ノ如ク「甚ク」ノ位置ニヨリ、「高キ」ニモカカリ、「好ム」ニモカカルコトアリ。

文法ヲ學バズシテハイカデカ(明快ナル)誤文ノ訂正ヲナスコトヲ得ン

「明快ナル」テウ修飾語ガ「誤文」ニカカルカ、「訂正」ニカカルカ不明ナリ。

余ハ(不勉強家ノ如ク)書を讀マズ

コトハ、位置上ヨリニアラネド又不明修飾也。即チ、「不勉強家が勉強セザル如ク余モ勉強セズ」

意カ、「不勉強ガナス如キ疎漏ナル勉強ハセズシテ精細ナル勉強ヲナス」ノ意カ不明ナリ。

二 成分ノ省略。(一)ガ省略。
(主略) 彼レハ昨日モ學バズ(彼レハ)今日モ學バズ

(說畧) 篤ノ宿ハ(何處カ)ト問ハバ如何ニ答ヘソ君ガ代ハ……昔ノムスマデ(マシヤセ)

(客略) 余ハ(其ノ)人ヲ(皆)メザリキ

(補略) 我レ其ノ埋ヲ(彼レニ)問ヒタリ

(修略) (善ク)天氣ニナリマシク

(主說略) 今年ハ豊年ナリトゾ(農夫ハ言フ) 其ノ他ナホタ多種ナリ。

四三二一

參考問題

何々ハ何々々(テナイ)ノ形ハ平叙文カ(然リ)

行ケ行ケ日本男兒「ハ何文カ

公園ノ花ヲ折り取ルコト勿レ「ハ何文

死ナルモノヲ見テ人ノ身ノ無常ヲ感じ起シハ朽チヌ名ヲ傳エム事ヲコソ勉強ムベキナリ」ノ誤

(三七年仙臺醫專)

文ノ性質ノ種類

- 一 平叙文
- 二 命令文
- 三 疑問文
- 四 感歎文

命令 禁止

文ノ性質上ノ種類(一)

文ノ性質上ヨリ見ケル種類四アリ

一 平叙文。事實ヲ有リノ儘ニ述ベテ何等ノ曲折モナ

キ文ナイフ。

(テアル(肯定)テナイ(否定)テアラサ(想像)タ

モノテアル(希望)ナド文意ハ如何ニアリトモ平叙

文トイハル。)

例 甲ハ人ナリ

猿ハ人ニアラズ

明日ハ天氣ヨカラシ 明日行キマス 等

二 命令文。命令ノ文及ビ否定ノ命令即チ禁止ノ文等

コレナリ。(凡ソ主語ヲ略ス)

動詞 四段活用・良變(既然ト同形)

動詞 右ノ外ノ活用(將然トニト)

命令形 第一類第二類共(カレ)

助動詞 第二類(ベシ)

禁止 同上ノ終止形下良變ハ連體形下ニ

カレトカレトノ間ニカ變(變ハ

之 將然形ヲ挿ミ、其ノ他ノ動詞ハ

連用形ヲ挿ム。助動詞ハ類推。

例 行ク行ク男子日本男子 ツニニ居レ

著物ヲ著ヨ(著ラレヨ・著給ヘ・著シメヨ) 烈シカレ

トハ祈ラヌモノナ 勉強スベシ 行ク勿レ 行カレ

セ給フ勿レ(名詞ノ下ニ事等ヲ略ス) 茲來(コ) 之

注意。一ベカラズニ等ハ「ベシ」ノ應用故、表ニ省ク。

命令

命令

動詞

動詞 右ノ外ノ活用(將然トニト)

命令形 第一類第二類共(カレ)

助動詞 第二類(ベシ)

禁止 同上ノ終止形下良變ハ連體形下ニ

カレトカレトノ間ニカ變(變ハ

之 將然形ヲ挿ミ、其ノ他ノ動詞ハ

連用形ヲ挿ム。助動詞ハ類推。

文ノ性質ノ種類(二)

上質(二) 三 四

一 平叙文

二 命令文

三 疑問文

四 反語文

感歎文

參考問題

世ノ中ハ何ノヘチマト思ヘドモアラリトシテハ

ラサレモセズニ歌讀ミハ下手ヨクケレ天地ノ動

キ出シテタマタルモノカハ「ナ性質上ノ他ノ種類」

文ニ改メヨ

疑問文ニ要スル疑辭ヲアゲヨ

ソレデモナ前ハ武士ノ子トイハルカ「張リ弓」

弦何ゾ直ナル張リ弓ノ弦何ゾ撓マヌ弦ノ直キハ弓

張レバナリ」ノ各前半ハ其ノ目的上疑問文カ(修

辭上ノ設疑文ニテ疑意ハナシ)

コトハコレハトバカリ花ノ吉野山「ハ何文カ

長唄・小唄・長歌・今様・短歌・俳句・川柳・都々逸等

ハ何ニヨル文ノ種類カ

黄表紙・青表紙・葛藟本・洒落本・教訓本・脚本・八文

字屋本等ハ文ノ種類ニハアラヌカ

文ノ性質上ノ種類(二)

三 疑問文 「ヤ」カ「又」ハ何。誰... 等ノ疑問詞ヲ用

ヒ、又ハ「カ」「ヤ」ノアルベキ性質ガ明ナルトキハ之

レヲ略シ、或ハ何。誰等ノ下ニ「カ」ヲ伴ヒ、時ニ「カ」

何。誰等ノ「カ」ト之レ等ノ全部又ハ一部ヲ一文申

混用スルコトモアリ。

イ 「ヤ」。用言ノ終止形下ニ接ス。

ハロ 「カ」。用言ノ連體形下ニ接ス。

用フ。何誰等ヲ用フレバ「ヤ」ヲ共用セズ、必ズ「カ」ヲ

ニ 「何誰等ニ「ヅ」ヲ伴ヒタル下ニハ「カ」ヲラズシ

テ「ヤ」ヲ用フ。

例 我が思フ人ハアリヤ(アルカ)無シヤ(無キカ)

來(ク)ヤ 教ノヤ 著ルヤ

クルカ 教ノルカ 著ルカ

何カ悲シム 霞カ雲カハタ雪カ

何ヲ悲シム 如何ナラム

何ヲ悲シミ給フヅ 誠ナルカ

何ヲ悲シミ給フヅ 甲ハモウ行ツタノ(?)

須臾ノ關有明ノ空ニ鳴ク千鳥傾ク月ハ汝モ悲シ

キ(カヲ畧ス)(千載集)

四 附。

反語 「ヤ」「カ」又ハ「ヤ」「カ」ハ「カ」ハ「カ」ニ轉シテ反

語トモナル。「如何デ」「何ヅ」「豈」ナドヲモ伴フ。

感歎文。文中感歎詞ヲ伴フ文ナリ。

(嗚呼)患臣楠氏之墓 (ア)イミジ

(ア、ヲ)不思議(ヤ) 歌へ(ヤ)舞へ(ヤ)等

文ノ組織ノ種類(一)

一 單文

二 複文附

三 重文

四 混文

參考問題

句ノ意味及ビ其ノ例ヲアゲヨ

節トハ何カ

單文中ニハ節アルカ句アルカ

左文ハ單文カ(然リ)

月清シ 風枯葉ヲ捲ク 大聲ハ偃耳ニ入ラス

苛政ハ虎ヨリ猛シ

富チ求メザル人ハ最モ富メル人トリ

舟チ香ム魚ハ枝流ニ游ガズ

左文ハ複文カ

我が宿三人ノ來ルコソサルサケレ(…トハイ)

モノノ御前ヲハナシ

古人モ百術ハ一清ニ如カズトイヘリ

人ノ西洋ニ之クヲ送ル

君子ハ人ノ己レヲ知ラザル事ヲ憂ヘズ

文ノ組織上ノ種類(一)

一 單文。唯一箇ノ説明語ヲ有スル文ナリ。

(主語・客語・補足語ノ數ニハ制限ナシ。)

蚊來、國家ノ休戚ニ關ス。甲雷ヲ描ク。甲モ乙

モ丙モ朝ト晝ト晩トニ牛乳ト鶏卵トヲ用フ。象ハ

鼻長シ

(注意)「此ノ煎餅ハ甘ク辛シ」ノ文ハ、説明語二箇

アル如クナレドモ、「甘シ」辛シト別種ノ二煎餅

ナインニ非ズシテ、二味ノ融和セルナイン故、實

ハ「甘ク辛シ」ニ性質上ニ説明語ヲ表ハス。

二 複文。單文ガ節ヲ伴フタルナリ。

節トシテ完全ナル單文ナレドモ、獨立シテ用ヒラ

ズ他ノ主文ノ附屬用トシテ(枝ガ幹ニ於ケル關

係ノ其枝ノ用ノ如シ)用ヒラレタル場合ノ單文也

例 風吹キテ花散ル

「花ガ」散ル「單文」、「風ガ」吹ク「モ單文ナリ。

カクテ後文ガ前文ノ枝トシテ(節)用ヒラレタリ。

カカル文ヲ複文トイフ。即チ前文ハ範圍大ニシテ

後文ハ範圍小ナリ。小ニシテ大ニ關係シ、其ノ關

係モ對立ノ關係ニハアラズシテ主従ノ關係ナリ。

(花ノ散ルハ諸原因アリ、獨リ風吹クノ理由ノミニ

アラズ。コレニテ大範圍ノ意明ナルベシ。)(節ガ

主文ニ附屬スルトキハ「ナ・ドモ・トモ・ニ・バ」等ノ

接續用ノ語ヲ伴フアリ。又客語・主語・補足語等ノ

位置トシテ、主文ニ附屬的關係ヲ付ケルアリ。

例ハ次號ニ他ト對照シテ出ス。

文ノ組織上ノ種類

一 單文

二 複文

三 重文

四 混文

參考問題

次ノ文ハ重文カ

衣ハ解ニ至リ袖腕ニ至ル

力山ヲ披キ氣世ヲ盡テ

處ノ名ハ黒ク松ノ色ハ青ク磯ノ波ハ雪ノ如クニ白

ク月ノ色ハ蘇芳ニテ五色ニ今一色ヅカラヌ

次ノ文ハ混文カ

氣ガ鬢レテハ風ガ新柳ノ鬢ヲ梳リ氷消エテハ

浪舊苔ノ鬢ヲ洗テ

月滿ツレバ(月ガ)虧ケ人奢レバ(人)衰テ

誰ク人ニ忍ビ世ニ展ルチノ三偉人ノ業ト心得ルハ

褻傑ノ半面ヲ遺レタル者ナリ「ノ文ヲ文章法ニヨ

リテ解剖スベシ。(四二年仙臺高工)

三

二

文ノ組織上ノ種類(二)

三 重文。二箇以上ノ獨立セル單文ノ對立(肩ヲ並

タル)シテ相關係連接スルヲイフ。(前文ハ中止形)

柳ハ綠ニ花ハ紅ナリ

春ハ藤波ヲ見夏ハ杜鵑ヲ聞キ秋ハ蝸ノ聲耳ニ滿チ

冬ハ雪ヲ憐ム

注意。複文ハ文(節)ガ附屬ノ地位ヲ採リ、重文ハ各

文ガ對立ノ地位ニ在リ。左例ノ各對ノ始ガ複文、

終ノ括弧内ガ重文ナリ。比較自得スベシ。

君君タラズとも臣臣タルベシ(君ハ君タリ臣ハ臣

タリ)

雨降リテ地固マル(雨降リ地固マル)

人々ハ彼ノ無智ヲ笑ヘリ(彼ハ無智ナリ人々之レ

ヲ笑ヘリ)

月明ナルハ星稀ナリ(月明ニ星稀ナリ)

○重文ハ又合一セラレテ單文ノ如キアリ 甲ハ書

ヲ讀ミ書ク 甲ハ書ヲ讀ミ且書ク

ノ例ハ、甲ハ書ヲ讀ミ甲ハ書ヲ書クノ略セラレタル

ナレバ重文ナリ。單文ノ條ニ述ベタル「煎餅ハ甘ク

辛シトハ異ナリ。煎餅ノハ甘辛ニテ一味ヲナシタ

ルヲ割リテ用ヒタルニテ一味ナリ。此ノ例ノハ讀書

ノ一意ナラテ、讀ミモシ又別ニ書キモスル意ナリ。

四 混文。前三種ノ文ノ種々ニ結合連絡シタルナリ。

(但シ單文ハ互ニ結合スレバ複文或ハ重文トナル)

親子ヲ愛スレバ子勵ミ子親ヲ敬ヘバ親喜ブ 旅人

ガ道ナク木茂レル山道ヲ迎ル 等

文ノ組織上ノ種類解剖

一 余ハ甲カ乙カニ我が意見ヲ傳ヘシトス

主 補 補 修 容 說 (單文)

觀光客ハ我が國ノ明媚ナルヲ感歎セリ

本主 節主 節說 本說 (複文)

情眼ト暴食トハ修學ニ妨アルガ故禁スベシ

本主 本主 節補 節主 節說 本說 (複文)

鳥ノ聲高ク歌フハ面白カラズヤ

節主 節修 節說 本說 (複文)

「鳥ノ聲高ク歌フ」ハ節ニシテ、同時ニ又「面白カ

ラズヤ」ノ主部トモナル。

甲來ラズトモ乙來ラズ我レハ始メシ

節主 節說 本主 本說 (複文)

甲ハ行キ乙ハ歸リ丙ハ止マル

主 說 主 說 主 說 (重文)

彼レハ威アリ又猛カラズ

總主 說 (重文)

彼レハ威ガアリ、彼レハ猛カラズノ二文ナリ。

月滿ツレバカケ人奢レバ塞フ(混文)

月滿ツレバ (月)カケ

節主 節說 本主 本說 (複文)

同様ニ人奢レバ塞フモ複文也ニ複文故重文。

親子ヲ愛スレバ子勵ミ子親ヲ敬ヘバ親喜ブ

(兩複文對等ニ接ス。故ニ混文。)

一〇 病人ハ風清ク月明ナル 地ニ一病ヲ

本主 風月重主清明重說本補 本容 本說 (混文)

文ノ組織上ノ誤 (國文法二三四)

- 一 善馬ヲ食ヒ酒ヲ飲マズバ人ヲ傷ラシム
- 二 善馬ヲ食ヒ酒ヲ飲マズバ人ヲ傷ラシム
- 三 善馬ヲ食ヒ酒ヲ飲マズバ人ヲ傷ラシム
- 四 善馬ヲ食ヒ酒ヲ飲マズバ人ヲ傷ラシム

「善馬ヲ食ヒ酒ヲ飲マズバ人ヲ傷ラシム」云々トスベシ
 善馬ヲ食ヒ酒ヲ飲マズバ人ヲ傷ラシム
 善馬ヲ食ヒ酒ヲ飲マズバ人ヲ傷ラシム
 善馬ヲ食ヒ酒ヲ飲マズバ人ヲ傷ラシム

- 一 自轉車ニ乗リ此ノ坂ヲ下ルベカラズ
- 二 自轉車ニ乗リ此ノ坂ヲ下ルベカラズ
- 三 自轉車ニ乗ルナ此ノ坂モ下ルナ
- 四 自轉車ニ乗ルナ此ノ坂モ下ルナ

以上ハ複文トスルカ重文トスルカノ問題ナリ。

法結係 (一) 意義
 平叙文
 以下次號

ツ・ナン・ヤ・カ
 コツ
 常ノ係結

- 一 今度ノ旅行ゾ極メテホシロカリダノ誤 (三四年東京高師專修)
- 二 大義ヲ知ル人ヲヅ武士ト謂フベクナリノ誤 (三四年東京高師專修)
- 三 コレヲナム都鳥トハヨクダリノ誤 (三四年士官校)
- 四 何處トモナク足ニ任シテ落チ行キ給フ心ノ中ゾ哀 (三六東京音楽校)
- 五 支那ハ東洋ニ於ケル帝國ニシテ其板圖キハメテカ (三八年東京女高師)
- 六 行キモ見タキ心地惚ルセラルノ誤 (四〇年士官校)
- 七 例ヲ擧ゲテ係結ノ法則ヲ説ク (四二年專門校)

係結法(一) (國文法二二五)

意義。係リ結ビトハ、最も近キ關係ニアル各成分ノ變化ニヨリテ、説明語が夫々變化スル其ノ調和サイレフ。(最も近キ關係ニアル各成分ニテ、遠キ關係ニアルモノトハ關係ナシ。)其ノ説明語ヲ結ビ、其ノ結ナル要求スル各成分ヲ係リトイフ。(上綴十二號參照)

一 平叙文ノ係結法。
イ ヅ・ナシ。係リ詞中「ヅ」又ハ「ナシ」ノ助詞アル時ハ結ビトシテ用言・助動詞ノ連體形ヲ用フ。
教師ヅ(ナシ)文法ヲ生徒ニ教フル
教フルノ代リニ、教フルナル、教ヘタリケル
ナドトスルモ勿論妨ナシ。

勉強ナシ(ヅ)善喜(善かる等トモ)

太郎ナシ(ヅ)行竝し(行く惡シ)進行キヌル

父ハ太郎ナシ(ヅ)行かせし(行かせヌル等)

父ハ太郎ニツ金ヲ與へし(與フル與ヘケル等)

父ハ太郎ニツ金ヲ約ナレバズト其取扱同ジ。

コソ。係リ詞中「コソ」ノ助詞アルハ結ビトシテ用言・助動詞ハ既然形ヲ用ヒ、意最も重シ。

前例「ナシ」ヨリ「コソ」ヲ代入シ結ビ「る」

ナ「ル」ニ「善喜」ナ「善ケル」シ「ナ」シ「か」トトセ

バ、移シテ此ノ條ノ例トナルナリ。

ハ 常ノ係。平叙文ヲ成スニ右以外ノ助詞ヲ有セル係リ語アル時、又ハ何等ノ助詞モ無キ時ハ用言・助動詞ノ終止形ヲ結ビトス。

太郎(無)行ク(教フ・來・來ケリ・善シ・行キヌ等)

次郎(モ・ニ・ナ・ナバ・バ・ン・ガ等)ノ助詞ヲ附

ス(ノ)係ヲ結ブニハ前例同様(行ク・教フ・來・來ケリ・善シ・行キヌ等)

ケリ・善シ・行キヌ等)

係結法(二) (國文法二二六)

- 法結係
- (三)
- 二 命令文
- 三 感歎文
- 四 疑問文

參考問題

一 車ヲ走ラシテ訪ヒマサラスコトモアラぬノ誤

(三九年金澤醫學)

二 係結法トハ如何左ノ例ニ就イテ略述セヨ

イ 風涼シ ロ 魚ヲ釣レリ (三二年一高)

三 流行ヲ追ふるヲ華美ニ流レシむナカレノ誤

(三七東京音樂校)

係結法(二) (國交法二二六)

二 命令文ノ結法。(禁止文ヲモ含ム) 命令文・禁止文ノ形式ハ(二二〇)ノ條ニ就ケルガ如シ。ソレニヨリテ結ベバ可ナリ。
注意。命令文禁止文ニハ、大體係リ詞ナキヲ本體トス。(從テ「ソ」ナシノ類ハナキガ本體)唐人モ船ヲ浮ベテ遊ブ。今日ゾ我ガセヨ花鬘セヨ。「。カ點ハ「今日ゾ」ノ右傍下ニワツベキモノト思フ。クテハ係詞トナラズ。係詞ナキガ故ニ「雨コソ降ル」ハ平叙文「雨降ル」同ジク「降ル」ナレバ命令文タルヲ知ル。

三 例 例モ亦(二二〇)ノ條ノヲ見ヨ

三 感歎文。平叙文ト同法ニテ感歎詞ヲ有ス。

嗚呼我レ過テリ(ソ・ナシ等類推)

嗚呼我レ過テルカ(同上)

今ノ世ノ人ノ子ハ夢バカリモ身ノ上ノ事トハ知ラザリケリ

老イテ死ナズノ藥モ有カ(說明語卷)

四 疑問文。係詞トシテ「ヤ」「カ」ノ助詞ヲ含ミ、結ビ詞トシテ用言・助動詞ノ連體形ヲ用フ。
(疑問文ハ汝ハ來。來ルカ等ノ如ク「ヤ・カ」ヲ係詞トセズシテモ作ルヲ得)

「イカガハ」「イカニカ」ノ略「ナド」「ナドカ」ノ略、「イカデカ」ノ略故皆「カ」ノ係詞アルト同

「イカデハ」「イカニカ」ノ略故皆「カ」ノ係詞アルト同

取扱トス。幾何・何・誰等ノ疑問詞ノ下ニハ「カ」ヲ用

「ヤ」ヲ用フ。但シ「ゾ」ヲ媒トシテ下ニハ

秋カ來ル 人ヲ教フル 誰ナカ恨ムル 何カアル

ニキ 如何思ヘル 犬カ強キ猫ヤ強キ等

(國交法二二七)

係詞ノ重ナリタルモ、

のガノ係結法

結ノ略形

法結係 (三) 五 七 六

參考問題

一 一 「ダウラ若キ身ニテミマカリヌルコト」アハレ

二 (一)ヨ「ナミタセ

世ヲ捨テテ入りニシ道ノ言ノ葉深キ色ク見エケル」位山跡ヲ尋ネテ登レド尾子ヲ思フ道ニ猶惑ヒ

マ「紅葉ハ惜シキ錦ト見シカドモ時雨トトモニ

降リテユヨ來レ「ナドハ特ニ歌人ノ意ノアル所ニ

テ故ニ破格ヲ用キタルナレバ初學者ハ避ケルヲヨ

シトス

三 文句中上ニ係詞ヲ置キ下ニ結詞ヲ置カザルハ如何ナル場合ナルヲ知レル限リノ例ヲ擧グヨ

(三四年東京高師專修科)

係結法(三) (國文法二七)

五 係詞重ナリタル時ハ重キ係詞一ツダケヲ結フ。係

詞ノ重複ハ其ノ類多クレドモ普通ハ、

イ「コソ」ト「常」ノ係「ト重ナルバ」コソ」ダケヲ結フ

即結ビハ既然形也。

ロ「ツ」ナソ「ヤ」カ「ト常」ノ係「ト重ナルバ」ソ」

「ナソ」ヤ「カ」ノ方ノミヲ結フ。即チ結ビハ連體

形也。

ハ「常」ノ係「ト」常」ノ係「ト重ナルバ」終止形ニヲ結

例イ 駒並ニライザ見ニ行カム故郷は雪トノミこそ

花は散ルらめ

象は鼻こそ長けれ 我こそはオ山ノ大將ぞれ

ロ 院號アリシ事は小一院をマシマシける

愚ナドイハソも此レ衆極ミナルらん

ハ 我レは今日は雨天ナルば家居す

心正ナルば身口は自ラ治まる

「ソ」ガ「ソ」ノ係リテ形容詞ニヲ結フ。

見ルガソビシき 音のサキケさき 等

七 昔話ノ面白さよ 等

結ビノ略形。

イ 結ビ全部ノ略。實ニ心スベコトニこそ(ソレ略)

遂ニ死ニタリトぞん(ぞ)イソノ略)

惡シキコトニ衆(アソソノ略)

ロ 結ビノ助動詞ノ略セラレテ體言ノミ殘ル。

難波津ナケヲコソ見ツノ浦毎ニコソ衆此ノ世ナカ

ミ渡ルふぬ(舟)「ならん」ノ畧

大事は此ノ事(な)り)ト思案シテ……

(國文法二八)

結ビノ變形 (接續性) 言ヒ掛

最モ近キ關係ニヲ係結ス

餘論

法結係 (四) 八 九

參考問題

一 彼レコソ大ニ勉強シタレドモ遂ニ落第シタレ」彼

レ正シキ人ト人々ハ思ヒける」ノ誤

汝ハ行ケ」汝コソ行ケ」ハ何レガ命令文カ

君ハ行キシカ」君ヅ行キシカ」君コソ行キシカ」

ハ皆正シキ文ナリ」シカ」ノ説明如何

何處ニカ今宵ハ宿チかりごろも日モゆふガレノ暮

ノ嵐ニ」中ヨリ掛詞ヲ出セ

以下便宜上茲ニ掲ゲ

左文ノ結ビ詞ノ謬ヲ正セ(但理由ヲモ示スベシ且

必ズ原文ト同一ノ活用ヲ用ヒテ他ノ詞ニ變ズベシカ

我ハヨルベナキ心地セシ

ナクテゾ人ハ戀シカリけれ

友ガリ訪フトモ長居スルナトナソ母ノタマヒ

誤

(三二年二高)

(三三年二高)

係結法(四) (國文法二八)

八 結び變形。

一 接続セル語ノ性ニヨリテ結びヲ變ズ。

「トモ」トモ「ナ」ニ「ナ」ガ「等」ガ説明語ニ接スル時ハ、結びハ係リ詞ヲ結バズシテ此レ等ノ語、接続スル規則ノ間ニ間ニ結びヲ變ズ。

彼レトモ學ブとも功ナカラシ

「コ」ナ有セル文ノ成分ナル「彼レ」コ「ン」結びハ、最も近キ「學ブ」トイフ說明語ナリ。茲ニテ文終結スルナラバ「學ベ」トイフ既然形ヲ用フベキナレドモ、

「トモ」トイフ、終止形ニ接スル助詞アル故「學ベ」ハ「學テ」トナル。「トモ」ハ終止形ニ接スル故。

彼レトモト思ヒシ「シカ」ニ「ラズ」ハ其モ無駄トナリス(ハ「連體形」シ等ニ接スル故)

口 言ヒ掛ケモ結びヲ變ズ。

雖波津ヲ今日トモ御津(見)ルナレドモノ浦毎ニヨレ此ノ世ヲ海(倦むナレド)渡ル船

「今日トモ」ニ對シテ「見」ルトスベキナ「御津ノ浦」ニカク、「ヨレ」係リニ對シテ結びハ連體形ナル

「倦む」ナルベキナ「海」ト掛ケタリ。

最も近キ關係ニテ係結ス。前ニ、意味ノ條ニイヒタル如ク、結びハ最も近キ關係ニアル係詞ヲ結ブナリ。サレバ節ハ其ノ節内ニテ係結サマムベク、本

主ノ文ト相連絡スベカラズ。

甲ハ「我レ」コ「善人ナレ」トイヒタリ「番」ニ「ナク」レ「人」ハ「靜」マ「リス」ラム「然」リヌベキ

モ「ヤ」アル「ト」何處「マ」テモ「ト」メ給ヘ

餘論。各係リノ雜多ニ重ナリタル例モア「レ」ドモ略ス。又係結ノ特例モ有レド略ス。

係結法(四) (國文法二八)

(一)應呼ノ文

六一 二二三 四五四 六

時、否定肯定、反語、假定、疑問、推量、

參考問題

蓋シ「コ」レ地上ノ霜「降り」ノ誤

此話ヲ兩親ニ聞セタル假定ヲテ大ニ喜ブ

先日御面會ノ機ヲ失フ事コトハ今以テ遺憾ニ存シ

イサ知ラズ「イサ知ラズ」ノ區別

明日ニナレバ「雨」フ「る」ノ誤 (三八年東京女高師)

左句ノ括弧内ニ適當ナル假字ヲ補填セヨ

豈ニ欣然()如何ニセバ可ナ()

「イサ行カム」ト「イサ知ラズ」トノ別

既ニ中學ノ業ヲ卒ヘ「る」ガ故ニ「進」シテ高學ノ

誤 學校ニ入り「カ」リ「ノ」誤 (四一年八高)

彼若シ兄ノ剛健ナルニ似レ「死」シテ身後ノ名ヲ成

文ノ呼應(一) (國文法二九)

一 文章中ノ上ノ語句ハ相調和相照即チ辻褄相合ハザルベカラズ。之レヲ文ノ呼應トイフ。

一 時ノ呼應。過去・現在・未來ノ時ノ關係相應ス。

二 否定・肯定ノ呼應。

老さざるヲ(打消) ぬめ忘ルル(打消)

人ハいざ心も知らず(上いざ、下知らず)

えも言はず(上え、下打消・反語。下ニ言はれずノ如クカアルベカラズ)

おは(おも)カカル理ハアラじ(上おも・下じ)

三 反語ノ呼應。

誰か知らん 人々問はん 人知ラマシカ

誰か知らん 人々は問はん 明日ヲ特ツ身か

四 假定ノ呼應。

若し此ノ事成らば 尤も其ノ事成就スとも...

五 疑問ノ呼應

如何ニシテ可ならん 如何トならば...

六 推量ノ呼應。

果して信ナルか 思フニ知ラザらん

夫レ或は然ラン 恐らくハ知ラザらん

蓋し然ラン余ハ信セズ

(二)應呼ノ文

九八七

要求)

自他)

使役)

受身)

漢字副詞)

異例

誤例

一 彼ヲ自ラ行カシメテ殺シ紀タリ「捕ヘラレテ遂ニ自殺セリ」ノ不純ナル理ヲ話セ

二 本日御尋仕答ニ候得共少々用事出来候ニ付明日参上仕候御都合ヨロシクソバカノ御約束ノ書翰ハコ

ノ使ニ御渡被下候」ノ誤 (二六年外語)

三 過日某地ヲ占領シ「際ノ如キハ若シ敵ニシテ尙一時間支えられば我レハ已ムヲ得又退却スルナラむ

ト思はるるなり」ノ誤 (三八年山口高商)

参考問題

文ノ呼應(二) (國文法一三〇)

- 七 要求ノ呼應。
願くは來タリウげよ 宜しく勉強スべし
何卒御許シ下さぬ度候 いざ書き給へ
- 八 自他ノ呼應。
我れ行く 風吹送花散る 課業終はる
彼れを憎む 枝を振り花ヲ落とす 課業ヲ終る
- 九 使役ノ呼應。
頼朝ハ義經ヲして平氏ヲ討タしむ
頼朝ハ義經ニ平氏ヲ討タサ
- 一〇 受身ノ呼應。
平氏は義經ニ討タる 生徒は教師ニ教ヘらる
義經は頼朝ニ平氏ヲ討タシマらる
- 一一 漢字副詞ノ呼應。
須(スベカラク...) (ベシ)猶(ナホ...) (如シ)
使(シテ...) (シム) 蓋(ナソゾ...) (ザル)
末(イマダ...) (ズ) 當(マサニ...) (ベシ)
將(マサニ...) (ス) 宜(ヨロシク...) (ベシ)

一二 異例。

舟を漕ぎ出づ 明日日曜ならば明後日ハ月曜なり
三角形ノ二角ノ和ガ直角ならば他ノ一角ハ直角なり
リ「昔九州ニ大棒トイフ者あり(最後史的現在)
一一 誤例。
豈喜バシキかな 未だ行きたり
えもイハれズ 蓋シ之レ非理なり
彼レナラバいざ知らず 業をせはりて歸郷ス

(國文法一三一)

(一)法讀句

- 一 句 點
- 二 讀 點
- 三 並列點
- 四 句 畫
- 五 括弧 點

- 一 ホトトキスホトトキスキスニスツツツリ
レニ初音聞カセヨ「ヲ讀メ
- 二 ツニ折リてくびニカクル珠數ヲ造レ「文ニテ
ハ手首ニカクル小サキ珠數カ又ハテチ上ニツクテ
- 三 首ニカクル大ナル珠數カ
- 三 金杓子屋忠兵衛龜井戸ニ引越シ申候「ハ悲シキ奇
(ク)シキ忠兵衛が冥土ニ...「トハナラヌカ
- 四 林ニカカル御庭松「ハ早キ死ニ掛カル鬼ハ待ツ」
トナラヌカ
- 五 カスミソノヘノ句ナリケル「ハ震ゾ野邊ノ「トモ
「糟味嗜ノ屁ノ「トモナラヌカ

參考問題

句讀法(一) (國文法一三二)

一 句點(。)。文ノ意味ノ終止シタル處ニ用フ。

楠正成ハ忠臣ナリ。川ヲ漕ギ上リ漕ギ下ル小舟ニ三艘。圖ヲザリキ、今日君ヲ見ストハ。カカル耻知ラズノ彼レハ我が友ニアラズ、我が縣人ニアラズ、更ニ日本國民ニアラズ。(最後ノ例ハ意味上全部ニテ一文也。)

二 讀點(、)。一定ノ規則ハ立テラズ。只上下相合シテ一トナリ誤解キ生ズル如キニ附ス。

一 主語が下ノ語ニ附シテ誤解キ生ズル時。兄、第二文法ヲ教フ。

ハロ 中止法ノ下。甲ハ行キ、乙ハ止マル。獨立語ノ下。

アア、悲イ哉。太耶君、一寸來給ヘ。ニ 逆逃ノ時。圖ヲザリキ、君ヲ見ストハ。

ホ 形ノ上ニハ終止シ意味上未ダ終止セヌ時。彼レハ我が友ニアラズ、日本人ニアラズ、吾人類ニモアラズ。

ハ 並列セル發表、ノ上ノ發表ノ下ニ。くもりたる、陰氣ナル日。克ク忠ニ、克ク孝ニ。泉ノ涓々タル、石ノ落々タル皆趣アリ。

ト 説明語ト隔リタル副詞又ハ主語ノ下。猥ニ、此ノ土手ニ登ルベカラズ。

チ 我レハ、山間ノ明月ト江上ノ清風トヲ愛ス。復文・重文ニハ、接續スル所ニ。

スリ 雨降リテ、地固マレ。朝三耕シ、夕三學ブ。接續詞ノ前後ニ。秦カ漢カ、將タ、近代カ。其他主部ノ甚ダ長キト、外人ノ姓ト名トノ間ト

假字ニテカケル兩語ノ連合スル場合ト。

(二)法讀句
一 句點
二 讀點
三 並列點
四 勾括
五 弧

一 左ノ文章ノ段落ヲ明ニシ意義ヲ解釋スベシ(編者
イナ句讀モ切ルベシ) (三八年水産講習所)

シカハアソビニ幸ニ若カリシ時ヨリ學ノ窓ニ入リシ
タル甲斐アリテ程朱ノ道ニシタガヒテ郷魯ノ風ヲ
タツネ韓歐ガ文ヲコノミテ邯鄲ノ歩ヲ學ブニゾ老
ノ寢覺モ感ミヌベキサチモ多クノ年月ヲ經テ世ノ
カツリカハル有様ヲ考フルニ盛衰榮枯互ニ行キカ
フハ夢トヤイハソ現トヤイハソ誠ニ富貴ハ浮ル
雲ノ如ク糾ヘル繩ノ如シトイヘルニ何カダガテ事
アルベキ

句讀法(二) (國文法一三三)

- 三 並列點()。同趣ノ名詞ヲ二箇以上並列シタルトキ其ノ中間ニ置ク。但、ニヤトヨトトモ等ノ助詞ニテ隔ツルカ、或ハ接續詞ニテ接續スレバ並列點ハ用ヒズ。頼朝、範頼、義經ナシテ平氏ヲ屋嶋・壇ノ浦ニ攻メシム。
- 四 句畫()。地ノ文句ナラヌニ用フ。
- 一 對話ノ文。
コレキ多助ガ聞イテ居マシテ、多「番頭サシ、番頭サシ」番「多助カエ、ナシクイ」...
- ロ 獨想ノ文。
今呼バレタノハキツト拾ツク金貨ノ事々。「何處ヲ拾ツク、何故黙ツテ居タ、不埒ナ奴ガ」トイハレルニ相違ナイト思ツテ、...
- ハ 獨語ノ文。
買島ハ「僧ハ推ス月下ノ門、僧ハ敲ク月下ノ門」ト何度モ獨言シナガアルナキル。
- ニ 引用文。
古人モ「孝ハ百行ノ基」トイヘリ。特ニ注意ヲ與フルトキ。
- ホ 特ニ注意ヲ與フルトキ。「謙遜」ト「卑屈」トハ自ラ別アリ。句畫ノ一種ニ()アリ句畫中更ニ句畫ヲ要スル時ニ附ス。
- 五 括弧()。本文ノ註解部ヲ包ム。江戸(今ノ東京)ニ出テテ學ビタリ。

甲 表之字假送

一 漢字ヲ用ヒズ		二 送假字ヲ用フ		三 送假字セズ		四 共通語根以外ノ假字ヲオクル	
1 1 感歎詞	2 2 助動詞	3 3 助動詞	4 4 接尾語	1 1 數詞	2 2 代名詞	3 3 副詞形容詞	4 4 熟語ノ副詞及ビ接續詞
2 2 1 感歎詞	3 3 助動詞	4 4 形容詞	5 5 形容動詞	1 1 名詞	2 2 代名詞	3 3 副詞形容詞	4 4 熟語ノ副詞及ビ接續詞
3 3 助動詞	4 4 形容詞	5 5 形容動詞	6 6 轉化	1 1 名詞	2 2 代名詞	3 3 副詞形容詞	4 4 熟語ノ副詞及ビ接續詞
4 4 接尾語	5 5 形容動詞	6 6 轉化	7 7 三音以上ノ副詞接續詞	1 1 名詞	2 2 代名詞	3 3 副詞形容詞	4 4 熟語ノ副詞及ビ接續詞
5 5 形容動詞	6 6 轉化	7 7 三音以上ノ副詞接續詞		1 1 名詞	2 2 代名詞	3 3 副詞形容詞	4 4 熟語ノ副詞及ビ接續詞
6 6 轉化	7 7 三音以上ノ副詞接續詞			1 1 名詞	2 2 代名詞	3 3 副詞形容詞	4 4 熟語ノ副詞及ビ接續詞
7 7 三音以上ノ副詞接續詞				1 1 名詞	2 2 代名詞	3 3 副詞形容詞	4 4 熟語ノ副詞及ビ接續詞

此ノ號ヨリ終迄ノ表

(國文法一三三)

送假字法(一) (國交法一三三)

送假字法ハ未ダ一定セラルモノナシ。サレド大體左ノ如クシテ可ナラン。

甲 總説。送假名トハアル語ヲ漢字ニテ現ハス時、其

ノ漢字ノ下ニツケテ其ノ意味ヲ明カニスル假字ナク

フ。其ノ大體ノ規則トシテハ、

A 活用アル語ハ其ノ活用ヲ送假字ス。

B 同一ノ漢字ヲ語原ノ相等シキ數語ニ適用スル場合

ニハ、其ノ各語ニ共通ナル語根以外ハ送假字ス。

戀ハ「コ」クケガ共通ノ語根故、

戀ヒシ 戀ヒシサ ノ如クスル如シ。

C 活用ナキ語ハ送假字セズ。

乙 細説。左ニ之レヲ細説セントス。

一 漢字ヲ使用セズ、從ツテ送假字モザルモノ。

1 感動詞。

お あはれ あつぱら等

2 助動詞。

べり たり ぬり ぬる じむ等。

但、慣用ニヨリテ左ノ如クモカク。

也 間敷 被 可シ 爲 等。

3 助詞。

と せ ば ぶり ぼて等。

但、慣用ニヨリテ左ノ如クモ書ク。

4 接尾語。
(與ト) 共(トモ・ドモ) 者(ハ) 迄(マデ)等。

ら び ぬ ぢぢ ぢぢ ぢぢ 等。

但、等 氣味 達 達 等トモ宛字ス

送假字法(二) (國交法一三四)

二 左ノ場合ニハ假字ヲ送ル。(其ノ一)

1 數詞ノ一ツニツ等ノ「ツ」萬ツノ「ツ」半「マ」

ハ送假字ス

2 代名詞ノ共通ノ語根以外ハカク。

其ノ 其レ 彼レ 彼ノ等

3 漢字ガ動詞ニ用ヒラルル場合ハ語尾ヲ送ル。

A 本來ノ動詞。行ク 死ヌ 有リ等。

但、「非ズ」「否ズ」ハ「ラ」ヲ送ラズ。又慣例上

「候」ノ連體形及ビ終止形ニモ送ラヌ事アリ。

B 共通ノ最短短語根以外ヲ送ル。

驚ク 驚カス ハ「カ」ヲモカク。

O 語尾促音。去ツテ 取ツテ 持ツテ 等。

D 語尾音便。問クテ 聞イテ 増イテ 等。

E 延言。知ラナク 申サク 爲マカ 等。

F 熟語ノ動詞。咲キ 揃フ 裁手 縫フ

但、慣用ニヨリ、引繼ク 申上ク

等、下ノ動詞ニノミ送假字スルモアリ。

4 漢字ガ形容詞ニ用ヒラルル時ハ左ノ如シ。

善ク 善シ 善キ 善ケレ 善シク 善シケレ

但、漢字ガ「ク」ノ語尾ヲ有スル形容詞ニ用ヒ

ラル時ハ「猛」ノ一語ノ外皆「ク」ニナホ

ク。又「ク」ノ語根ノ一音ヲモ送ル

又誤讀ノ恐アレバ「シ」ノ一音ヲモ送ル

5 形容動詞。(上綴二十九參照)「ナリ。タリ。カリ」ナ

カク。

送假字法(三) (國文法二三四)

二 左ノ場合ハオカル。(其ノ二)
6 漢字ガ、動詞又ハ形容詞ヨリ轉ジタル名詞以外ノ品詞ニ用ヒラルル時ハ、動詞又ハ形容詞ノ例ニヨリテ送假字ス。

A 動詞ヨリ轉ジタル形容詞。
羨マシ 歎カハシ
B 形容詞ヨリ轉ジタル動詞。
親シム 惜シム

C 動詞ヨリ轉ジタル副詞。

D 形容詞ヨリ轉ジタル副詞。
始メテ 願ハクハ
E 動詞ヨリ轉ジタル接續詞。
乗ネテ 及ビ

F 動詞ヨリ一度形容詞ニ轉ジ、更ニ副詞ニ轉ジタルモノ。痛マシク 賑ハシク

7 漢字ガ三音以上ノ副詞・接續詞ニ用ヒラルル時ハ、最後ノ一音ヲオカル。

A 副詞ノ三音以上
自ラ 況ヤ 甚ク
B 接續詞ノ三音以上
或ハ 但シ

但、慣例ニヨリテ「但」ナドトスルモ可ナリ。
又「若シ」善シ「能ク」斯ク「ノ四語ハ三音ナレドモ最後ノ一音ヲオカル。

送假字法(四) (國文法二三五)

三 左ノ場合ハ送假字セズ。(其ノ一)
1 漢字ガ名詞トシテ用ヒラルル場合。
本來ノ名詞。天 海 聲 夢 男 等

但、二様ノ讀方アル場合ニハ音數多キ方ニ最後ノ一音ヲオカル。タ「ユラ」ニ 岩 水 等
轉來名詞。

A 動詞ヨリ。光 震 帶 釣 教 等
但、誤讀ノ恐レアラズ最後ノ一音ヲオカル。

B 形容詞ヨリ。船 辛
定メ 定リ 悔イ 悔ミ 預ク 預リ 等
C 感謝詞ヨリ。哀

A 名詞ト名詞ト。山川 春風 酒樽 等
B 形容詞ト名詞ト。青物 黑髮 高山 等
C 動詞ト名詞ト。立札 塗板 賣場 等

但、誤讀ノ恐レアルモノハオカル。
預ク金 預リ金 入り口 入レ口
D 名詞ト動詞ト。山崩 襪卷 水吞 等
E 形容詞ト動詞ト。早書 早起 高笑

F 動詞ト動詞ト。見込 届出 問答
但、誤讀ノ恐レアラズオカル。
讀書 讀ミ書キ 往來 往キ來

2 漢字ガ助詞ヲ添ヘテ代名詞ニ用ヒラルル時
A 人代名詞。私 汝 彼(カ) 誰(タ) 等
B 指事代名詞。此(コ) 其(ソ)

C 熟語代名詞。汝 等 君 等 私 達 等
但、我レ 我ガ 其レ 其ノ 等ハオカル。

送假字法(五) (國文法二三五)

三 左ノ場合ハ送假字セズ。(其ノ二)

3 漢字ガ本來ノ副詞・接續詞ノ二音又ハ二音ヲ繰リ返シタルモノニ用ヒラルル場合。

A二音ノ副詞。今唯 皆等 但、善シ 若シ 能ク 斯ク一ハ一音送ル。

B右、二音ノ反復。益 屢 愈等

O二音ノ接續詞。又 亦 將 且

D右二音ノ反復。抑 旁等

4 漢字ガ總語ニテ副詞又ハ接續詞トシテ用ヒラルル場合。

A副詞。大抵 過半 一切 日々

B接續詞。就中 加之 假令

四 總説ノ(B)ニ言ヒタル如ク。

同一ノ漢字ヲ語原ノ相等シキ數語ニ適用スル場合ニ

ハ、其ノ各語ニ共通ナル語根以外ハ送假字ス。

A動詞ト動詞ト。「驚カス 惑ハス 迷ハス」等

B形容詞ト動詞ト。「悲シム 全クス」等

O動詞ト形容詞ト。「騒ガス 歡カハシ」等

D副詞ヨリ。「再ズ 未ダシ」等

E活用語ヨリ。「極メテ 因テ」等

F動詞ヨリ名詞ニ。「語ラズ 見せしめ」等

深み 深き 深び 心有りび

字訓假字遣(一) (國文法二三六)

甲 紛レ易キ假字。左圖ノ同符號ノ音ハ紛レ易シ。

ア	◎イ	□	フ	◎エ	△カ
ヤ	◎ヒ	□	フ	◎エ	△ホ
ウ	◎キ	□	カ	◎エ	△チ

ザ	▲ツ	◎ズ	ゼ
ダ	▲ザ	◎ヅ	ヅ

乙 假字遣ノ法。紛レ易キ假字中、其ノ假字ヲ含ムル語ニテ語數少ナキ方ヲ記憶シ他ヲ推知ス。

わとはト。(語上ニテハ紛レズ)

わとはトハ、ハガ詞ノ中・下ニアルトキハ如ク發音スルニヨリテ紛ルナリ。お少ナシ。故ニ之レヲ註記シテ、此ノ外ノわト發音スルハ皆ハト心得ベシ。

アおツ 周章、イおシ 鱗、ウおル 植

カカク 乾、クおる 慈姑、コおロ 摩色

サワチカ 爽、サおク 騷、ヌおル 坐

シお 皺、タおラ 僕、タおム 撓

タおチヌ 手弱女、タおイナシ 愚鈍、ハラおタ 腸

ヒお 磯、エおカ 硫黄、ヨおシ 弱

わ(分)言譯(ヒおク)、野分(ノおキ)、理(コトおリ)、斷(コトおル)、

アわ(泡・沫)、水泡(ミナわ)、泡盛(アホマリ) 他語ト接シタルハ、各語ニ分クテ考ヘヨ。指輪ノわ、菅原ノはナル如キチイフナリ。

字訓假字遣(四) (國文法一三七)

おトをト使ト

語上ニテハおを粉レ、中・下ニテハを・使粉ル。純國語ニテハ、中・下ニおナシ。次ニ使ト書クベキ凡テチ揚ゲタレバ、此ノ外ハ、語上ニハおヲ用ヒ、中・下ニハ使ヲ用ヒヨ。

お 男、《男・夫》男人。夫婦ニ「女夫ニテめ」と。甥「男生ニテを以」。武士「増荒雄ニテおすら」と。勳「英雄ニテいさを」と等。

お 小。《伯叔父・伯叔母・少女》小ツ女ニテとめ。女・女郎花「を改改ハシ」と等。尾・丘、《聖丘》の上ニテおのへ」と等。

お 岡・陸・犯す(冒・侵)・可笑し・拜也等皆をかへを。おをシノ發音アル語ハ抑(おさふ)ノ外皆是也。箴(おさ)・長・治也(收修納)・効し箴。

お 折。《乘》枝折ニテしる。《妻・九折》つづらをり」等。遠、《一昨日》おとと(つ)《ひ》

ヲを リを サを アを ヲを 魚、 竿、 居、 桶、 瀨、 教、 忘、 香、 叫、
カッ 魚、 青、 竿、 居、 桶、 瀨、 教、 忘、 香、 叫、
カッ 魚、 青、 竿、 居、 桶、 瀨、 教、 忘、 香、 叫、
カッ 魚、 青、 竿、 居、 桶、 瀨、 教、 忘、 香、 叫、
カッ 魚、 青、 竿、 居、 桶、 瀨、 教、 忘、 香、 叫、

字訓假字遣(五) (國文法一三八)

じトぢトノ假字

純國語ニテハ、一音ニテぢナツクベキ語ナシ。又語ノ上ニテじトカクベキハナシ。ち 父、《伯叔父》小父ニテぢ。祖父「大父ニテお

ぢ 路、《小路》こぢ。淡路「阿波路」

アぢ 味、アぢ 鱒、カぢ 筋、カぢ 梶、ヒぢ

フぢ 藤、アぢサる樂陽花、カぢ

クぢ 鯨、チぢム 鱒、モミぢ 汝、ウラぢ

ナヅ 右ノ外ハ皆「じ」ノカナト知ルベシ。

じト「ト」ノ假字

純國語ニテハ一音ニテ「ト」イフ語ナシ。ズト發音スルモノハ皆「ず」ナリ。

涼シ・生絹(スズシ)・鱧(スズキ)・鈴・雀・錫・硯・慈

コ字系梢(木未故)、字

不、カ字 矢筈、ク字 葛 敷

モ字 疰、ミ字 蛭刺、カナ字 必 葛

ホ字 歪、チ字 雀、ハ字 機

右ノ外ハ皆「フ」ノ假字ト知ルベシ。

字訓假字遣(六) (國交法一三八)

一 ふト登ト候ト

ふハ語ノ中ニ下ニアル時ハ登ト候トニ紛ル。今紛レ

易キふヲ擧グ。他ハ推スベシ。

タアル 倒、カゲロふ蟬蛸・陽炎、クふ 今日

アふミ 近江、フクロふ鼻、キノふ 昨日

コふ 乞、あふみ 葵、アふギ 扇

アふガ 仰ガ・煽ガ。

二 ふトウト

也行下二段活ノ植ウ(系)・飢ウ(系)・据ウ(系)

ト、其ノ他ウ音便(上綴ノ三〇ト三八ト参照)

トハウト書クベク、あハツレヨリ推察スベシ。

三 動詞ニテい・ゆトカクベキモノ

也行上二段活ノ「老」・「悔」・「報」ハ

い い ゆ ゆル ゆレ

ノ語尾ナ有スル故、い・ゆタルコトヲ知ルベシ。

四 ゆトふト

也行下二段ノ語ハ、系ト見トヘトノ假字遣部ニアグ

タル如ク、見ゆト活用シ、ハ行下二段ノ教養構加

抑答堪迎総控仕考代與等ハ、い・ふ「サカク」シ。

五 長音便

いナ補フ、詩歌ナ シいカ、四時ナ シいシ

イナ補フ、家司ナ ケいシ 等

ウナ補フ、八日ナ ヲウカ、女官ナ ニヨウ...

賜グナ タウブ、設クナ マウク

夜ナ ヲウサリ、反故ナ ホウユ

等又假字遣トシテ心得ベシ

理想的の英語雜誌

中學上級程度英語雜誌!!!

新 英 語

第一卷第七號十月一日發行 毎月一回一日發行

定價一冊金五錢 郵稅五厘 一年分郵稅共金六十錢

理想的の初等英語雜誌!!!

初 英 語 研 究

第三卷第十號十月一日發行 毎月一回一日發行

定價一冊金六錢 郵稅五厘 一年分郵稅共七十錢

第一讀本程度英語雜誌!!!

初 步 英 語

第三卷第一號十月一日發行 毎月一回一日發行

定價一冊金五錢 郵稅五厘 一年分郵稅共六十錢

發行所

東京市麹町區富士見町六丁目十番地

英語研究 振替口座東京一八三三六番 社

『英語研究』諸者編輯

別年學 英語カード

第一學年	金卅八錢	第二學年	金卅八錢
第三學年	四十五錢	第四學年	四十五錢
第五學年	金五十錢	小包稅各函	八錢
學年別英語カード索引			金 八 錢

英語を覚ゆるにカードを用ゆるの利便は今や大方の等しく認むる所なり、されど坊間未だ其完全なるもの發覺せざるを以て、學生の中にはカードの名を聞き、其利便なるを聞くも、未だ其如何なるものなるや、熟記せざる者多く、適々之を知り之を實行するも、其製作の記入一に自ら之を爲さざるべからざるを以て、其煩勞の甚大なるに辟易して完全にこれを利用する者稀なり、誠の十に一の憾事と云ふべし。茲に編輯局同人、友誼の篤し、氏の盡力を得て、二十有餘種百有餘冊の教科書を、收めて一枚のカードとし、文例二三を不規則的變態に、總之を併記し、且つ動詞形容詞等の不規則的變態に、別して別に使用説明書を添附せるもの、されば初歩より高至るまで在ゆる階級の英學生は各自に適する種類を購求せば即日即刻よりカード式暗誦の便多く、其功大なる新法を實行し得べく其ウオカピュラリ増し、ナレツガを堅實ならしむる事を得べし。

東京市麴町區富士見町六丁目十番地

英語研究社

振替口座東京一八二三六番

發行所

東京麴町區 富士見町 英語研究社

- 第十六篇 英文日記の引
- 第十五篇 發音綴字の神話
- 第十四篇 ギリシアの神話
- 第十三篇 第四英文法の神話
- 第十二篇 イソップの神話
- 第十一篇 後のロビンソン
- 第十篇 第三英文法の神話
- 第九篇 第三英文法の神話
- 第八篇 ロビンソンの
- 第七篇 フライソンの
- 第六篇 第二英文法の神話
- 第五篇 第二英文法の神話
- 第四篇 ロビンソンの
- 第三篇 西洋幽霊の神話
- 第二篇 初等英文法の神話
- 第一篇 初等英文法の神話

重ぬるものあるに至れり

英語初學者の爲めに未だ斯くの如く親切に斯くの如く解り易く説明したるものなし、毎編好評如潮十數版を

初等英語叢書

每册約百五十頁
價 廿五錢
郵稅 四錢

英語研究記者編輯

英語研究記者編輯

英語の手ほどき

第一より第三迄は第一讀本程度

第四卷より第六卷迄は第二讀本程度

初めて英語を學ぶ人、又は英語を學びつゝある人に完
美の土臺を築き又は築き直させ人が爲めに第一、第二
讀本程度の英語を讀み方、綴字、譯讀、文法、練習の
各欄に涉りて英語研究者一流の趣味多き筆を振ひたる
もの、英語を學ぶに如斯親切なる教師あるなし。

高野一助先生譯

市 隱 日 錄

正價金六十錢
郵税金六錢

(第四版)

本多孝一先生著

會話作文 英文讀記法

正價金廿五錢
郵税金二錢

東京府立第二中學校教諭荒非常一先生著

獨習用 算術の語上下二卷

定價各金卅錢
郵税金四錢

獨習用 代數の語

近 刊

中等 教科

カード式參考書目錄

- ▲日本史 全二綴
- ▲東洋史 全二綴
- ▲西洋史 全二綴
- ▲日本地理 全二綴
- ▲外國地理 全二綴
- ▲地文學 全二綴
- ▲鑛物學 全二綴
- ▲動物學 全二綴
- ▲植物學 全二綴
- ▲生理學 全二綴
- ▲國文法 全二綴
- ▲漢文故事 全二綴
- ▲漢文難語 全二綴
- ▲英文法 全二綴
- ▲算術 全二綴
- ▲代數 全二綴
- ▲幾何學 全二綴
- ▲三角法 全二綴
- ▲物理學 全二綴
- ▲化學 全二綴

●正價各金拾六錢 ●郵税金二錢宛

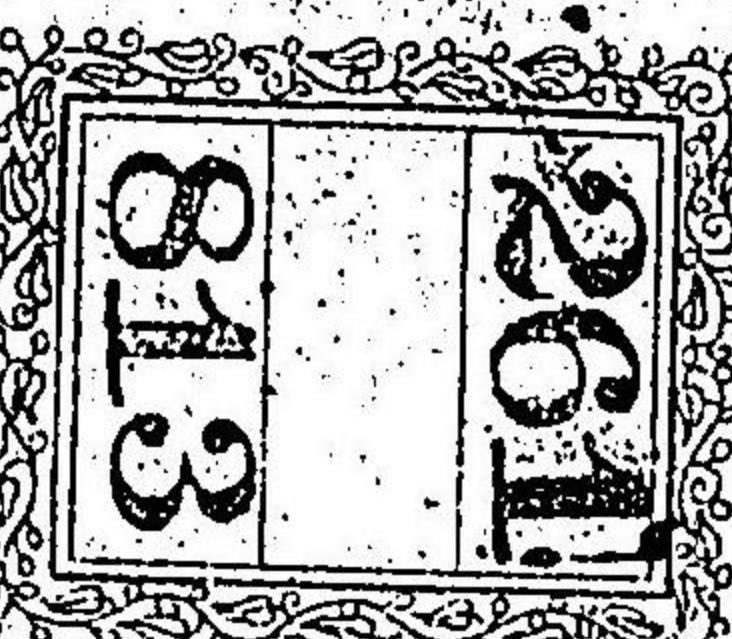
記入用 野線入用 白カード紙 百枚綴定價金拾錢
前記參考書の補充用紙也
平野式 綴入り用 白カード紙 五十枚綴布表紙金十五錢
參考書の補充別綴に便也

明治四十四年一月二十二日印刷
明治四十四年一月二十五日發行

總發行者 小酒井五一郎
東京市麹町區富士見町六丁目十番地

印刷者 邊八太郎
東京市牛込區櫻町七番地

印刷所 日清印刷株式會社
東京市牛込區櫻町七番地



三三六(東京)英語研究社
市麹町區富士見町六丁目十番地

